

注3 **大学番号：私470**

[平成23年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

届出

中村学園大学 教育学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 中村学園
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学事課

職名・氏名 課長 サカイ ヒロシ 隆

電話番号 092-851-2531

（夜間） 092-851-2589

F A X 092-841-7762

e-mail gakuji@nakamura-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部

（□□学部（平成◇◇年度より変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	5
3	施設・設備の整備状況、経費	11
4	既設大学等の状況	13
5	教員組織の状況	15
6	留意事項に対する履行状況等	31
7	その他全般的事項	33
8	F D 委員会規程等	39

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学 校 法 人 中 村 学 園

(2) 大 学 名

中 村 学 園 大 学

(3) 大学の位置

〒814-0198

福岡県福岡市城南区別府5丁目7番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(ナカムラ リョウイチ) 中村 量一 (平成5年9月)		
学 長	(フジモト スナオ) 藤本 淳 (平成14年11月)	(カイ サトシ) 甲斐 諭 (平成23年11月)	任期満了のため平成23年11月1日より変更 (24)
学 部 長	(フクダ ノブミツ) 福田 伸光 (平成23年4月)	(サガラ ヤスヒロ) 相良 康弘 (平成24年4月)	任期満了のため平成24年4月1日より変更 (24)
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 平成24年度に報告済の内容 → (24)
 平成26年度に報告する内容 → (26)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成23年度開設の4年制の学科の場合(平成26年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	設置時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育学部 児童幼児教育学科 学士(教育学)	4年	220人	3年次 10人	900人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	220 (-) [-]		220 (-) [-]		220 (10) [-]		220 (10) [-]		1.13倍	
志願者数	1,496 (-) [0]	- (-) [-]	1,530 (-) [0]	- (-) [-]	1,730 (11) [1]	- (-) [-]	1,415 (10) [0]	- (-) [-]		
受験者数	1,492 (-) [0]	- (-) [-]	1,524 (-) [0]	- (-) [-]	1,720 (11) [1]	- (-) [-]	1,415 (10) [0]	- (-) [-]		
合格者数	533 (-) [0]	- (-) [-]	506 (-) [0]	- (-) [-]	558 (7) [0]	- (-) [-]	557 (8) [0]	- (-) [-]		
B 入学者数	271 (-) [0]	- (-) [-]	240 (-) [0]	- (-) [-]	240 (6) [0]	- (-) [-]	248 (8) [0]	- (-) [-]		
入学定員超過率 B/A	1.23		1.09		1.09		1.12			

- (注) ・ 数字は, 平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出して**

ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで記入してください。

- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度	平成 2 3 年度		平成 2 4 年度		平成 2 5 年度		平成 2 6 年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次		[0] 271	[-] —	[0] 244	[-] —	[0] 241	[-] —	[0] 251	[-] —	
2 年次				[0] 266	[-] —	[0] 243	[-] —	[0] 242	[-] —	
3 年次						[0] 268	[-] —	[0] 245	[-] —	
4 年次								[0] 265	[-] —	
計		[0] 271		[0] 510		[0] 752		[0] 1,003		

- (注) ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) 一④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成23年度 入学者	271 人	6 人	平成23年度	3 人	0 人	学生個人の心身に関する事情(2人) 就学意欲の低下(1人)	2.2 %
			平成24年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学(1人)	
			平成25年度	2 人	0 人	就職のため(1人) 進路変更のため(1人)	
			平成26年度	0 人	0 人		
平成24年度 入学者	240 人	1 人	平成24年度	1 人	0 人	経済的理由(1人)	0.4 %
			平成25年度	0 人	0 人		
			平成26年度	0 人	0 人		
平成25年度 入学者	240 人	1 人	平成25年度	1 人	0 人	進路変更のため(1人)	0.4 %
			平成26年度	0 人	0 人		
平成26年度 入学者	248 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0.0 %
合 計	999 人	8 人					0.8 %

(注)・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
- (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<教育学部 児童幼児教育学科>

(1) 授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	中村学	1・2・3・4後		2		1					学士課程教育充実の為、教養科目を新設(24) (担当：古相正美教授)
	哲学	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前		2							兼 2 受講者分散のため、開講期変更(25)
	文学	1・2・3・4前・後		2		1					兼 3 受講者数が講義科目適正人数に収まったため、古相正美教授担当削除(24) 受講者数過多の為開講期を追加し、担当者を追加(23) (担当：古相正美教授)
	心理学	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前		2		1	1	1			担当教員職位変更(准教授に昇格)(26) 専任教員退職により、担当者変更(25) (担当：野上俊一講師) 受講者分散のため、開講期変更(24)
	メンタルヘルス論	1・2・3・4前		2							兼 1 野上俊一講師担当コマ超過の為、担当者変更(24)
	国際文化論	1・2・3・4後		2							受講者数過多の為担当者を追加(23) (担当：崔光善教授)
	音楽の世界	1・2・3・4前		2		1					兼 1 学士課程教育充実の為、教養科目を新設(24)
	アートワールド	1・2・3・4後		2							兼 1 専任教員退職により、担当者変更(24)
	リーダーシップ論	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2		1					兼 1 専任教員退職により、担当者変更(25)
	宗教学	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							他科目との関連性を考慮し、開講期を変更(23) 他科目との関連性を考慮し、開講期を変更(25)
	倫理学	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							兼 1 学士課程教育充実の為、教養科目を新設(24)
	スポーツ文化	1・2・3・4後		2							他科目との関連性を考慮し、開講期を変更(25)
	演劇の世界	1・2・3・4後 1・2・3・4前		2							兼 1 学士課程教育充実の為、教養科目を新設(24)
	食の博多学	1・2・3・4後		2							兼 1 他科目との関連性を考慮し、開講期を変更(26)
	アジア食文化事情	1・2・3・4後		2							兼 1 学士課程教育充実の為、教養科目を新設(24)
	日本国憲法	1前		2							兼 2 学士課程教育充実の為、教養科目を新設(24)
	人権教育	1前		2							兼 3 学士課程教育充実の為、教養科目を新設(24)
	同和教育	1前		2							兼 1 より適切な科目名称に変更(25)
	法学	1・2・3・4前		2							兼 1
	社会学	1・2・3・4後		2							兼 2
	経済学	1・2・3・4前		2							兼 1
	アジアの経済	1・2・3・4後		2							兼 1 学士課程教育充実の為、教養科目を新設(24)
	九州経済事情	1・2・3・4前		2							兼 1 学士課程教育充実の為、教養科目を新設(24)
	経営学	1・2・3・4後		2							兼 1
	金融リテラシー	1・2・3・4前		2							兼 1 学士課程教育充実の為、教養科目を新設(24)
	知的財産論	1・2・3・4後		2							兼 1 学士課程教育充実の為、教養科目を新設(24)
	マスコミ論	1・2・3・4前		2							兼 1 学士課程教育充実の為、教養科目を新設(24)
	歴史学	1・2・3・4前		2		1					兼任教員採用の為、担当者を変更(23) (担当：占部賢志教授)
	博多学	1・2・3・4後		2		1					兼任教員採用の為、担当者を変更(23) (担当：占部賢志教授)
	社会福祉とボランティア	1・2・3・4前・後 1・2・3・4後		2							兼 2 受講者分散のため、開講期変更(26)
	ジェンダー論	1・2・3・4後		2							兼 1 学士課程教育充実の為、教養科目を新設(24)
	現代社会と政治	1・2・3・4後		2							兼 1
	現代社会と教育	未開講 1・2・3・4前		2							兼 4 担当者退職のためH26年度閉講(26) 学士課程教育充実の為、教養科目を新設(24)
	環境論	1・2・3・4前		2		1					兼 1 島内博行教授担当コマ超過の為、担当者変更(24)
	数学	1・2・3・4前・後		2		1					兼 2 受講者数過多の為開講期を追加(23)
	統計学入門	1・2・3・4後		2							兼 1 学士課程教育充実の為、教養科目を新設(24)
	統計学	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							上記「統計学入門」開設のため科目閉講(24)
	情報科学	1・2・3・4前・後 1・2・3・4前		2							兼 2 受講者分散のため、開講期変更(24)
	物理学	未開講 1・2・3・4後		2							履修希望者がいなかったため(25)
	化学	1・2・3・4後		2							兼 1
	食の科学	1・2・3・4前		2							兼 1
	生物学	1・2・3・4後		2		1					兼 1 相良康弘教授担当コマ数超過の為、担当者変更(24)
	地学	1・2・3・4前		2							兼 1
	体の科学	1・2・3・4前		2							兼 1 学士課程教育充実の為、教養科目を新設(24)
	色彩の科学	1・2・3・4前 1・2・3・4後		2							兼 1 他科目との関連性を考慮し、開講期を変更(26)
	情報処理A	1前		1		1				1	兼 2 新ヶ江登美夫教授担当コマ数超過の為、担当者変更(24)
	情報処理B	1後		1		1				1	兼 1
	生涯スポーツ論	1後		1			1				兼 1 中島憲子准教授長期海外研修の為、担当者変更(26) 保育士養成課程改正(H22.7)により単位数を変更(23)
	健康・スポーツ科学演習	4前		1		1		1		1	担当教員職位変更(准教授に昇格)(23) 保育士養成課程改正(H22.7)により科目を削除(23)
	健康・スポーツ科学実習	1前 1後		1		1		1		1	上記「健康・スポーツ科学演習」削除に伴い開講期を変更(23)
	生涯スポーツ実習	1後		1		1	1	1		1	中島憲子准教授長期海外研修の為、担当者変更(26) (担当：古賀範雄教授、中野裕史准教授) コマ調整により、担当者変更(25) (担当：中島憲子准教授) 古賀範雄教授、中島憲子准教授、担当コマ超過の為、担当者を変更(24) 非常勤助手から専任助手に担当変更(24) (田村孝洋助手)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	外国語	総合基礎英語 A	1前	1			1				兼 2 兼 2 2 担当コマ調整により、担当者変更 (26) (担当：木原美樹子准教授)
		総合基礎英語 B	1後	1		1					
		英語リスニング A	1前	1							兼 4 兼 4 担当コマ調整により、担当者変更 (25) (担当：木原美樹子准教授) 木原美樹子准教授、担当コマ超過の為、担当者を変更 (23)
		英語リスニング B	1後	1		1	1				
		英語コミュニケーション A	2前	1				1			兼 3
		英語コミュニケーション B	2後	1				1			兼 3
		韓国語コミュニケーション A	未開講 3前	1							兼 1 履修希望者がいなかったため (25)
		韓国語コミュニケーション B	3後	1							兼 1
		中国語コミュニケーション A	3前	1							兼 1
		中国語コミュニケーション B	未開講 3後	1							兼 1 履修希望者がいなかったため (25)
		フランス語 I	1・2・3・4前	1							兼 1 学士課程教育充実の為、教養科目を新設 (24)
		フランス語 II	1・2・3・4後	1							兼 1 学士課程教育充実の為、教養科目を新設 (24)
		スペイン語 I	1・2・3・4前	1							兼 1 学士課程教育充実の為、教養科目を新設 (24)
		スペイン語 II	1・2・3・4後	1			1				兼 1 学士課程教育充実の為、教養科目を新設 (24)
		英語・文化海外研修	1・2・3・4通	2			1				他学部との共同開講科目であり、平成26年度は木原美樹子准教授が担当 (26) 研修時期を考慮して、開講期を変更 (24)
			1・2・3・4前			1					他学部との共同開講科目であり、平成24年度は兼担教員が担当 (24)
専門科目	初年次教育	スタディ・スキル I	1前	1		2 5 4 5	6 4 2 2	1			兼 4 新任教員採用に伴う、担当者変更及び担当教員職位変更 (26) (担当：吹氣弘高准教授) 新任教員採用に伴う、担当者変更 (25) (担当：石田靖弘准教授、野中千都准教授) 専任教員退職に伴う、担当者変更 (24) (担当：青木英実教授、相良康弘教授) 科目の専門性を考慮し、担当者を変更 (23) (担当：占部賢志教授、笠原正洋教授、古相正美教授、橋本義徳准教授)
		スタディ・スキル II	1前	1		2 3 5 4	6 4 2 2	2 1 2 2		2 1	新任教員採用に伴う、担当者変更及び担当教員職位変更 (26) (担当：吹氣弘高准教授) 専任教員退職及び新任教員採用に伴う、担当者変更 (25) (担当：石田靖弘准教授、中野裕史准教授) 専任教員退職及び新任教員採用に伴う、担当者変更 (24) (担当：島内博行教授、木原美樹子准教授、野中千都准教授、吉松遊佳講師) 科目の専門性を考慮し、担当者を変更 (23) (担当：笠原正洋教授、田中浩子教授) 新任助手採用の為、助手を追加 (23) (黒水のみ子助手)
		スタディ・スキル III	1後	1		3 4 5	2 3 2 3	3 1 2			専任教員退職及びスタディ・スキル I / II 担当者変更に伴う、担当者変更 (26) (担当：藤瀬教也准教授、松垣淳子講師) 専任教員退職及びスタディ・スキル I / II 担当者変更に伴う、担当者変更 (25) (担当：相良康弘教授、中野隆二准教授) スタディ・スキル I / II 担当者変更に伴う、担当者変更 (24) (担当：井上寛七教授、崔光善教授、中島憲子准教授、野上俊一講師、山田朋子講師)
		スタディ・スキル IV	2前	1		5 3 5	3 2 2	2 1			新任教員採用及びスタディ・スキル I ~ III 担当者変更に伴う、担当者変更 (25) (担当：占部賢志教授、針塚進教授、坂本真由美准教授) スタディ・スキル I ~ III 担当者変更に伴う、担当者変更 (24) (担当者：佐々木美智子教授、古相正美教授、望田研吾教授、平田繁准教授、宮坂明准教授、吉川昌子准教授、石黒万里子講師)
	専門基礎理論	教育原理	1前	2		1					担当教員職位変更(准教授に昇格) (26) 専任教員退職及び新任教員採用のため、担当者変更 (25) (担当：針塚進教授) 他科目との関連性を考慮し、開講期を変更 (24)
		教育心理学	1前	2		1	1	1			
		特別支援教育総論	4後	2		1	1				新任教員採用に伴う、担当者変更 (担当：藤瀬教也准教授) 専任教員退職及び新任教員採用のため、担当者変更 (25) (担当：坂本真由美准教授)
		教職研究	2前	2		1	1		1		
		教育制度論	1前	2		1					兼 2 保育士養成課程改正 (H22. 7) により科目名称を変更 (23)
		児童家庭福祉	1後	2		1					
		児童福祉	2後	2							他科目との関連性を考慮し、開講期を変更 (24) 保育士養成課程改正 (H22. 7) により開講単位数を変更 (23)
		保育原理 A	1前	2	4						
	学習指導	国語概論	2前	2		1	1				担当コマ調整により、担当者変更 (25) (担当：古相正美教授、橋本義徳准教授) 新任教員採用の為、担当者を変更 (23) (担当：占部賢志教授)
		社会科概論	1後	2		1	1				
		数学概論	2前	2		1					兼 1 兼 1
		自然科学概論	2後	2		1					
		生活科概論	1後	2							兼 1 兼 1
		家庭科概論	1後	2							
		初等教育課程総論	1後	2		1					兼 1 兼 2 1 平田繁准教授の付属園長就任に伴う、担当者変更 (26)
		国語科教育法 I	2後	1		1	1				
		国語科教育法 II	3後	1		1	1				兼 1 兼 1
		社会科教育法 I	2前	1		1	1				
		社会科教育法 II	3後	1			1				専任教員退職及び新任教員採用のため、担当者変更 (25) (担当：石田靖弘准教授) 科目の内容を考慮して、助手を配置 (24) (木村安心助手)
		算数科教育法 I	2後	1		1					
		算数科教育法 II	3前	1		1					専任教員退職及び新任教員採用のため、担当者変更 (25) (担当：石田靖弘准教授)
		理科教育法 I	2前	1		1			1		兼 1 平田繁准教授担当コマ数超過のため、兼任教員のみで担当 (25) 科目の専門性を考慮し、担当者を変更 (24) (担当：平田繁准教授)
		理科教育法 II	3後	1			1				
		生活科教育法 I	2後	1			1				兼 1 平田繁准教授の付属園長就任に伴い、担当者から削除 (26) 科目の専門性を考慮し、担当者を追加 (25) (担当：平田繁准教授)
		生活科教育法 II	3前	1			1				
		音楽科教育法 I	2後	1			1				兼 2 宮坂明准教授担当コマ数超過の為、担当者変更 (25)
		音楽科教育法 II	3前	1			1				兼 2 宮坂明准教授担当コマ数超過の為、担当者変更 (25)
		図画工作科教育法 I	3前	1			1				新任教員採用に伴う、担当者変更 (26) (担当：吹氣弘高准教授)
		図画工作科教育法 II	4前	1			1				

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専 門 科 目	学 習 指 導	家庭科教育法Ⅰ	2前	1							兼 1
		家庭科教育法Ⅱ	4前	1							兼 1
		体育科教育法Ⅰ	2後	1			+	+			兼 1 中島憲子准教授長期海外研修の為、担当者変更(26) 担当教員職位変更(准教授に昇格)(23)
		体育科教育法Ⅱ	3前	1			+	+			兼 1 中島憲子准教授長期海外研修の為、担当者変更(26) 担当教員職位変更(准教授に昇格)(23)
		初等英語教育法	4後	2			1				教職課程認定申請における指示により区分を変更(専門発展より移動)(23)
		道徳教育指導論	2前	2			1				教職課程認定申請における指示により科目名称を変更(23)
		道徳教育研究	3前	2			1				
		特別活動	3前	2			1				
		教育方法学	3前	2							兼 2
		生徒指導	3後	2			+				兼 1 他科目との関連性を考慮し、開講期を変更(25) 専任教員退職により担当者変更(23)
		教育相談	3後	2							兼 1
	保 育 支 援	幼児教育課程総論Ⅰ	1前	2				1			
		幼児教育課程総論Ⅱ	4前	2			1				
		保育内容総論	4後	1			1				兼 1 平成25年度から専任教員として勤務(26) 保育士養成課程改正(H22.7)により科目を新設(23) 専任教員退職及び新任教員採用のため、担当者変更(25)(新任教員は9月着任予定)
		保育内容健康Ⅰ	2後	1			+	1			兼 1 科目の専門性を考慮し、担当者を変更(24) (担当:笠原正洋教授、吉川寿美助教)
		保育内容人間関係Ⅰ	2後	1			1		1		兼 1
		保育内容環境Ⅰ	2後	1			1			1	兼 2
		保育内容言葉Ⅰ	2前	1			1				
		保育内容表現造形Ⅰ	2後	1			+			+	兼 1 専任教員退職のため、兼任教員へ変更(26) 専任助手から非常勤助手に担当変更(24)
		保育内容表現音楽Ⅰ	2前	1							兼 2
		保育内容健康Ⅱ	3前	1			+				兼 2 退職のため、専任教員から兼任教員へ変更(25)
		保育内容人間関係Ⅱ	3前	1			1		1		兼 1 科目の専門性を考慮し、担当者を追加(25) (担当:笠原正洋教授、吉川寿美助教)
		保育内容環境Ⅱ	3前	1						1	兼 2
		保育内容言葉Ⅱ	3後	1			+	1			兼 2 科目の専門性を考慮し、担当者を変更(25)(担当:野中千都准教授)
		保育内容表現造形Ⅱ	3前	1				+		1	兼 2 専任教員退職のため、兼任教員へ変更(26) 科目の専門性を考慮し、担当者を追加(25)(担当:中野隆二准教授)
		保育内容表現音楽Ⅱ	2後	1							兼 2
		幼児理解	3前	2			1				教職課程認定申請における指示により科目名称を変更(23)
		幼児指導	2前	2							兼 1
		社会福祉	1	1							
		相談援助	3後	2							兼 2
		社会福祉援助技術	2後	2			+				兼 1 専任教員退職のため、兼任教員へ変更(26) 保育士養成課程改正(H22.7)により科目名称を変更(23)
		社会的養護A	1後	2			1				兼 1
		養護原理A	2前	2							兼 1 保育士養成課程改正(H22.7)により科目名称を変更(23)
		発達心理学A	3前	2							兼 1 保育士養成課程改正(H22.7)により科目名称を変更(23)
		子どもの保健ⅠA	4前	2							兼 1 保育士養成課程改正(H22.7)により科目名称を変更(23)
		小児保健A	3前	2							兼 1 保育士養成課程改正(H22.7)により科目名称を変更(23)
		子どもの保健ⅠB	4後	2							兼 1 保育士養成課程改正(H22.7)により科目名称を変更(23)
		小児保健B	3前	2							兼 1 保育士養成課程改正(H22.7)により科目名称を変更(23)
		子どもの食と栄養	4後	2							兼 1 保育士養成課程改正(H22.7)により科目名称を変更(23)
		小児栄養学	4前	2							兼 1 保育士養成課程改正(H22.7)により科目名称を変更(23)
		精神保健	4後	2			+				兼 1 保育士養成課程改正(H22.7)により科目を削除(23)
		家庭支援論	4後	2							兼 1 保育士養成課程改正(H22.7)により科目名称を変更(23)
		家族援助論	2前	2						1	兼任教員採用の為、担当者を変更(24)(担当:野中千都准教授)
		乳児保育A	3後	+			1	1			科目の専門性を考慮し担当者を追加(25)(担当:吉川昌子准教授) 保育士養成課程改正(H22.7)により科目名称及び単位数を変更(23)
		障がい児保育	3後	+			1	1			兼 1 保育士養成課程改正(H22.7)により科目名称を変更(23)
		発達援助論	3後	1							兼 1 保育士養成課程改正(H22.7)により科目名称を変更(23)
		社会的養護内容	4前	1			1				兼 1 保育士養成課程改正(H22.7)により科目を新設(23)(担当:笠原正洋教授)
		養護内容	4前	2			+				兼 1 他科目との関連性を考慮し、開講期を変更(26)
		保育相談支援	4後	2							兼 1 保育士養成課程改正(H22.7)により科目名称を変更(23)
		保育原理B	3後	2							
		社会的養護B	4後	2							
		養護原理B	3後	2			1				
		児童福祉各論	4後	2			1				
		子育て支援論	2前	2				1			兼任教員採用の為、担当者を変更(25)(担当:松藤光生特任講師)
		発達心理学B	3後	2							兼 1
		発達心理学C	3後	2			1				兼任教員採用の為、担当者を変更(25)(担当:針塚進教授)
		発達臨床心理学	4前	2							兼 1 保育士養成課程改正(H22.7)により科目名称を変更(23)
		子どもの保健Ⅲ	4前	2							兼 1
		小児保健C	3後	2							兼 1 保育士養成課程改正(H22.7)により科目名称、単位数及び区分を変更(実技・実践に移動)(23)
		乳児保育B	3後	2			+				
		児童文化	3後	2			+				
実 技 ・ 実 践	音 楽 ・ 造 形	音楽Ⅰピアノ	1後	1			+	1	+	1	兼 1 専任教員退職により担当者変更(24)(担当:吉松遊佳講師) 担当教員職位変更(講師に昇格)(24) 新任助手採用の為、助手を追加(24)(大庭美奈助手)
		音楽Ⅰ歌唱	1後	1				1			兼 2
		音楽Ⅱピアノ	2前	1			+	1		1	兼 1 専任教員退職により担当者変更(24)(担当:吉松遊佳講師) 新任助手採用の為、助手を追加(24)(大庭美奈助手)
		音楽Ⅱ歌唱	2前	1				+			兼 1 宮坂明准教授担当コマ数超過の為、担当者を変更(25)
		基礎造形Ⅰ	1前	1			1	+		1	兼任教員採用に伴う、担当者変更(26)(担当:井上寛七教授)
		基礎造形Ⅱ	1後	1			+	1		+	兼任教員採用に伴う、担当者変更(26)(担当:吹氣弘高准教授) 専任助手から非常勤助手に担当変更(25) 非常勤助手から専任助手に担当変更(24)(永本弘子助手)
		造形A	2前	1			1			1	
		造形B	3後	1			1				兼 1 科目の専門性を考慮し、担当者を追加(25)(担当:井上寛七教授)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門 科目	幼児と運動 A	2前		1		1	4 2				中島恵子准教授長期海外研修の為、担当者から削除(26) 中野裕史准教授担当コマ超過のため、担当者を変更(25) 科目の専門性を考慮し、担当者を変更(24) (担当：中野裕史准教授、中島恵子准教授)
	幼児と運動 B	2後		1		1	1 2				中島恵子准教授担当コマ超過のため、担当者を変更(25) 科目の専門性を考慮し、担当者を変更(24) (担当：中野裕史准教授、中島恵子准教授)
	体育 A	3前		1		4	1				専任教員退職のため、担当者を変更(25) (担当：中野裕史准教授)
	体育 B	3後		1			1			1	専任教員退職に伴うコマ調整のため、担当者を変更(25) (新任教員は9月着任予定)
	児童文化表現	3前		1		4	1				科目の専門性を考慮し、担当者を変更(25) (担当：野中千都准教授) 保育士養成課程改正(H22.7)により科目名称、単位数及び区分を変更(保育支援より移動)(23)
	教職実践演習(小・幼)	4後		2		1	1 2	4			担当教員職位変更(准教授に昇格)(26)
	保育・教職実践演習(幼稚園)	4後		2		1	1	2			
	小学校教育実習指導 I	2後		1			2			1	専任教員退職、新任教員採用及び橋本義徳准教授担当コマ超過のため、担当者を変更(25) (担当：石田靖弘准教授)
	小学校教育実習研究Ⅰ						2				科目の内容を考慮し、担当者を追加(担当：橋本義徳准教授)(24)
	小学校教育実習指導Ⅱ	3通		1			1 2			1	教職課程認定申請における指示により科目名称を変更(23)
	小学校教育実習研究Ⅱ						2				専任教員退職及び平田繁准教授担当コマ超過のため、担当者を変更(25) (担当：橋本義徳准教授)
	小学校教育実習	3後		4			1 2				教職課程認定申請における指示により科目名称を変更(23)
	幼稚園教育実習指導 A	3通		1		1	4			1	専任教員退職及び平田繁准教授担当コマ超過のため、担当者を変更(25) (担当：橋本義徳准教授)
	幼稚園教育実習研究 A						4				専任教員退職及び新任教員採用のため、担当者を変更(25) (担当：坂本真由美准教授)
	幼稚園教育実習指導 B	4通		1			2	4		1	教職課程認定申請における指示により科目名称を変更(23)
	幼稚園教育実習研究 B						4				科目の内容を考慮して、担当者変更(26) (担当：坂本真由美准教授、野中千都准教授)
	幼稚園教育実習 A	3通		2		1	4				教職課程認定申請における指示により科目名称を変更(23)
	幼稚園教育実習 B	4通		2			2	4		1	専任教員退職及び新任教員採用のため、担当者を変更(25) (担当：坂本真由美准教授)
	介護等体験実習	2通		1		1				1	科目の内容を考慮して、担当者変更(26) (担当：坂本真由美准教授、野中千都准教授)
	介護等体験実習研究	2通		1		1				1	科目の内容を考慮して、助手を配置(24) (黒水のみこ助手)
	保育所実習研究 A	3通		1				1		1	科目の内容を考慮して、助手を配置(24) (黒水のみこ助手)
	施設実習研究 A	3後・4前		1				1		1	新任教員採用の為、担当者を変更(25) (担当：松藤光生特任講師)
	保育所実習 A	3前		2				1		1	新任教員採用の為、担当者を変更(25) (担当：松藤光生特任講師)
	施設実習 A	3後・4前		2				1		1	新任教員採用の為、担当者を変更(25) (担当：松藤光生特任講師)
	保育所・施設実習 B	3後・4前		2				4		1	新任教員採用の為、担当者を追加(25) (担当：松藤光生特任講師)
	保育所実習研究 B	3後・4前		1				1			保育士養成課程改正(H22.7)により科目を新設(23) (担当：山田朋子講師)
	施設実習研究 B	3後・4前		1				1			新任教員採用の為、担当者を追加(25) (担当：松藤光生特任講師)
	保育所・施設実習研究 B	3後・4前		4				4			保育士養成課程改正(H22.7)により科目を新設(23) (担当：山田朋子講師)
	子どもの保健Ⅱ	2後		1						1	保育士養成課程改正(H22.7)により科目を削除(23)
	小児保健実習										保育士養成課程改正(H22.7)により科目名称を変更(23)
	子どもの食と栄養・実習	3後		1						兼 2	保育士養成課程改正(H22.7)により科目名称を変更(23)
	小児栄養学実習										
	幼稚園保育所体験実習	2前		1		1	1	4			担当教員職位変更(准教授に昇格)(26)
	保育実践美術	4後		2						兼 1	科目の内容を考慮し、担当者を追加(担当：野上俊一講師)(24)
	食と保育	4前		2						兼 1	
	食と教育	4後		2						兼 2	
	児童福祉	4前		2		1					保育士養成課程改正(H22.7)により科目名称を変更(23)
	児童家庭福祉										
	学校・学級経営論	4前		2		1	1			兼 1	科目の内容を考慮し、担当者を追加(担当：占部賢志)(26)
	教育課程研究	3後		2			4			兼 1	平田繁准教授の付属園長就任に伴う、担当者変更(26)
	教育史	4前		2		1					
	教育社会学	4後		2			1	4			専任教員退職により担当者変更(26) (担当：坂本真由美准教授)
	保育経営論	4後		2						兼 1	新任教員採用に伴う、担当者変更(26) (担当：藤瀬教也准教授)
	障害児の心理検査法	4後		2			1				配置転換により専任准教授に変更(23) (古川昌子准教授)
	演劇表現	4後		2							
	幼児と運動 C	3前		1		4		1		兼 2	新任教員採用に伴う、担当者変更(26) (担当者：松垣淳子講師)
	体育 C	4前		1			4	4		兼 1	退職のため、専任教員から兼任教員へ変更(25)
	運動発達・学習論	2前		2			1				中島恵子准教授長期海外研修の為、担当者変更(26)
	日英文化比較	2後		2			1				担当教員職位変更(准教授に昇格)(23)
	初等英語教育法	4後		2			4				教職課程認定申請における指示により区分を変更(学習指導に移動)(23)
	児童文学	3後		2		1	4				科目の専門性を考慮し、担当者変更(25) (担当：古正正義教授)
	国語特論	4後		2		1	4				科目の専門性を考慮し、担当者変更(26) (担当：古正正義教授)
	自然科学 A	3前		2		1					
	自然科学 B	4後		2			1				他科目との関連性を考慮し、開講期を変更(26)
	幼児と数・形	4前		2		1					
	数学特論 A	3後		2		4				兼 1	島内博行教授担当コマ超過のため、担当者変更(25)
	数学特論 B	4前		2		1					
	マルチメディア演習	2前		1		1				1	科目の専門性を考慮し、担当者を変更(24) (担当：新ヶ江登美夫教授)
	器楽	2後		1		4		1		兼 1	非常勤助手から専任助手に担当変更(24) (泊羊子助手)
	声楽	3前		1			1				専任教員退職により担当者変更(24) (担当：吉松遊佳講師)

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門発展		教育情報処理A	2後		1		1				1	科目の専門性を考慮し、担当者変更(26) (担当：新々江登美男教授、野上俊一准教授) 新任教員採用の為、担当者を変更(23) (担当：占部賢志教授)	
		教育情報処理B	4前		1		1	1			1		
		歴史学特論	3後		2		1						
		新生児医学	4後		2								
専門科目	ゼミナール	研究ゼミ	3後	1			12 13	12 9	3			専任教員退職・新任教員採用のための担当者変更(担当：吹氣弘高准教授、藤瀬教也准教授、桧垣淳子講師)及び担当教員職位(准教授に昇格)(26) 専任教員退職及び新任教員採用のため、担当者変更(25) (担当：針塚道教授、石田靖弘准教授、坂本真由美准教授) 担当教員職位変更(准教授に昇格)(23) 専任教員退職・新任教員採用のための担当者変更(担当：吹氣弘高准教授、藤瀬教也准教授、桧垣淳子講師)及び担当教員職位(准教授に昇格)(26) 専任教員退職及び新任教員採用のため、担当者変更(25) (担当：針塚道教授、石田靖弘准教授、坂本真由美准教授) 担当教員職位変更(准教授に昇格)(23)	
		卒業研究	4通	4			12 13	12 9	3				
							14	8	4				
特別支援教育に関する科目		知的障害者の心理・生理・病理	1後			2	4	2 1			1	兼任 1 新任教員採用に伴う、担当者変更(26) (担当：藤瀬教也准教授) 教職課程認定申請における指示により科目を新設(23) (担当：笠原正洋教授、吉川昌子准教授、吉川寿美助教) 教職課程認定申請における指示により科目を削除(23)	
		知的障害者の心理	1・2・3・4前			2	4						
		肢体不自由者の心理・生理・病理	2後			2	1	1					兼任 1 教職課程認定申請における指示により科目を新設(23) (担当：昇地勝人教授) 教職課程認定申請における指示により科目を削除(23)
		肢体不自由者の心理	1・2・3・4後			2	4						
		病弱者の心理・生理・病理	4前			2						兼任 2 教職課程認定申請における指示により科目を新設(23) 教職課程認定申請における指示により科目を削除(23)	
		障害者の病理	1・2・3・4前			2							
		知的障害教育総論	2後			2					1		他科目との関連性を考慮し、開講期を変更(23)
		肢体不自由教育総論	4前			2	4	1					
		病弱教育	4後			2							兼任 1 他科目との関連性を考慮し、開講期を変更(23)
		知的障害者の教育課程と指導法	4前			2							
		肢体不自由者の指導の理論と実際	4前			2	1						他科目との関連性を考慮し、開講期を変更(23)
		視覚障害者の心理・生理・病理	4前			1							
		聴覚障害者の心理・生理・病理	4前			1		1					兼任 1 教職課程認定申請における指示により科目を新設(23) (担当：吉川昌子准教授) 教職課程認定申請における指示により科目を削除(23)
		視覚障害者の心理と教育	1・2・3・4後			2							
		視覚障害者の教育課程と指導法	4後			2							兼任 1 教職課程認定申請における指示により科目を新設(23) 教職課程認定申請における指示により科目を新設(23) (担当：吉川昌子准教授) 教職課程認定申請における指示により科目を削除(23)
		聴覚障害者の教育課程と指導法	4後			1		1					
		聴覚障害者の心理と教育	1・2・3・4後			2							教職課程認定申請における指示により科目を新設(23) 教職課程認定申請における指示により科目を新設(23) (担当：吉川昌子准教授、中野裕史准教授) 教職課程認定申請における指示により科目を削除(23)
		発達障害者の教育	2前			2		2					
		発達障害者の心理と教育	1・2・3・4前			2							教職課程認定申請における指示により科目を削除(23)
		特別支援学校教育実習	4後			2	4	1			4		
特別支援学校教育実習指導	4通										他科目との関連性を考慮し、開講期を変更(23)		
特別支援学校教育実習研究	4後			1	4	1			4				

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「記当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 9	科目 176	科目 13	科目 198	科目 9 [0]	科目 198 [22]	科目 15 [2]	科目 222 [24]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	現代社会と教育	2	1~4	一般	選択	授業担当予定者が急遽退職することになり、後任担当者の差配が間に合わなかったため平成26年度に限り閉講。次年度以降は開講する。 例年履修者数が多いその他の教養科目のコマ数を増やし、履修可能な科目数は昨年度以上のコマを準備した。(26)

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	統計学	2	1~4	一般	選択	教養教育科目としてより基礎的な内容を扱う「統計学入門」を新設したため、「統計学」は廃止した。(24)

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

統計学分野の基礎的知識を学ぶ教養教育科目として「統計学入門」を新設し、これに伴い「統計学」は廃止したが、入門編ということで、学生の履修意欲を喚起することも期待できる。学生に対しては掲示及び新年度開始時に配布する「N-Guide」（履修の手引き）にて周知した。(24) 卒業要件として教養教育科目の中でも分野毎の必要単位数が定められているが、「現代社会と教育」閉講分の2単位を補うため、同分野内他科目の開講コマ数を増やした。また、本科目については、学部設置時の計画には設置していなかった科目で、教育課程の充実のため新設した科目である。今年度だけの閉講であり、学生への影響は大きくないと考える。学生に対しては掲示及び新年度開始時に配布する「N-Guide」（履修の手引き）にて周知した。(26)						
---	--	--	--	--	--	--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	1	=	0.00
設置時の計画の授業科目数の計	198		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 中村学園大学短期大学 部と共用		
	校 舎 敷 地	0㎡	32,414.84㎡	0㎡	32,414.84㎡	田島グラウンド 徒歩12分 1.0km		
	運動場用地	0㎡	34,059.69 50,059.69 83,388.69㎡	0㎡	34,059.69 50,059.69 83,388.69㎡	広石グラウンド バス20分 7.0km		
	小 計	0㎡	66,474.53 82,474.53 115,803.53㎡	0㎡	66,474.53 82,474.53 115,803.53㎡	広石グラウンドの一部 (33,329㎡)を併設校 (三陽高校)へ移管し たため (24)		
	そ の 他	2,555.86㎡	16,183.00 183.00㎡	3,251.36㎡	21,990.22 5,990.22㎡	運動場用地の一部 (16,000㎡)をその他 敷地へ用途変更したた め (25)		
	合 計	2,555.86㎡	82,657.53 115,986.53㎡	3,251.36㎡	88,464.75 121,793.75㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 中村学園大学短期大学部 と共用		
		13,317.47㎡	35,203.81㎡	4,018.31㎡				
		13,319.91㎡	37,390.03㎡	4,520.83㎡	52,539.59㎡	・部屋の移動に伴い専 用・共用区分の変更をし たため (25)		
		13,801.26㎡	36,394.18㎡	5,035.33㎡	55,230.77㎡	・校舎の一部解体に伴う 減少 (26)		
		(13,317.47㎡)	(35,203.81㎡)	(4,018.31㎡)	(52,539.59㎡)			
		(13,319.91㎡)	(37,390.03㎡)	(4,520.83㎡)	(52,539.59㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		39 室	32 —31 —32 —34 室	132 —136 —137 —109 室	9 室 (補助職員 3人)	1 室 (補助職員 0人)	大学全体 中村学園大学短期大学部 と共用	
							・演習室：用途変更の ため(研究室等へ変 更) (23)	
							・実験実習室：申請時 に錯誤(ピアノ練習室 数) (23)	
							・演習室：用途変更の ため(研究室へ変更) (24)	
							・実験実習室：用途変 更のため(事務室へ変 更) (24)	
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室 数		演習室へ用途変更のため (25)		
		教育学部 児童幼児教育学科		34 —35 室				
(5)	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	不要図書の除却により 図書減少、学術雑誌を 整理し外国雑誌の一部 を電子ジャーナルへ変 更 (26)
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル				
		冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点	
	教育学部 児童幼児教育学科	89,000 [11,600]	260 [33]	3 [3]	2,800	10,219	133	
		(86,467 [10,741])	(234 [21])		2,651	10,480	130	
		(87,418 [11,526])	(248 [30])		2,613	(10,219)	(133)	
		(86,540 [11,368])	(258 [31])	(8 [8])	2,554	(10,190)	(121)	
		(85,348 [11,213])	(260 [33])		2,479	(10,173)	(80)	
		(84,500 [11,000])	(251 [33])	(0 [0])	2,440	(9,963)	(82)	
	計	89,000 [11,600]	260 [33]	3 [3]	2,800	10,219	133	
(86,467 [10,741])		(234 [21])		2,651	10,480	130		
(87,418 [11,526])		(248 [30])		2,613	(10,219)	(133)		
(86,540 [11,368])		(258 [31])	(8 [8])	2,554	(10,190)	(121)		
(85,348 [11,213])		(260 [33])		2,479	(10,173)	(80)		
図 書 ・ 設 備		(84,500 [11,000])	(251 [33])	(0 [0])	2,440	(9,963)	(82)	
		89,000 [11,600]	260 [33]	3 [3]	2,800	10,219	133	
		(86,467 [10,741])	(234 [21])		2,651	10,480	130	
		(87,418 [11,526])	(248 [30])		2,613	(10,219)	(133)	
		(86,540 [11,368])	(258 [31])	(8 [8])	2,554	(10,190)	(121)	
計		(85,348 [11,213])	(260 [33])		2,479	(10,173)	(80)	
		(84,500 [11,000])	(251 [33])	(0 [0])	2,440	(10,116)	(82)	
		89,000 [11,600]	260 [33]	3 [3]	2,800	10,219	133	
		(86,467 [10,741])	(234 [21])		2,651	10,480	130	
		(87,418 [11,526])	(248 [30])		2,613	(10,219)	(133)	
計		(86,540 [11,368])	(258 [31])	(8 [8])	2,554	(10,173)	(80)	
		(85,348 [11,213])	(260 [33])		2,479	(10,116)	(82)	
		(84,500 [11,000])	(251 [33])	(0 [0])	2,440	(9,963)	(82)	
		89,000 [11,600]	260 [33]	3 [3]	2,800	10,219	133	
		(86,467 [10,741])	(234 [21])		2,651	10,480	130	
計		(87,418 [11,526])	(248 [30])		2,613	(10,219)	(133)	
		(86,540 [11,368])	(258 [31])	(8 [8])	2,554	(10,190)	(121)	
		(85,348 [11,213])	(260 [33])		2,479	(10,173)	(80)	
		(84,500 [11,000])	(251 [33])	(0 [0])	2,440	(10,116)	(82)	
		89,000 [11,600]	260 [33]	3 [3]	2,800	10,219	133	
計		(86,467 [10,741])	(234 [21])		2,651	10,480	130	
		(87,418 [11,526])	(248 [30])		2,613	(10,219)	(133)	
		(86,540 [11,368])	(258 [31])	(8 [8])	2,554	(10,190)	(121)	
		(85,348 [11,213])	(260 [33])		2,479	(10,173)	(80)	
		(84,500 [11,000])	(251 [33])	(0 [0])	2,440	(10,116)	(82)	

(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
		2, 736. 62㎡		374		232, 000			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		5, 519. 68㎡		テ ニ ス コ ー ト × 4 面		軟式野球場・サッカー場×各1面			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費等、設備購入費：当初計画時より減額となったため(23) 設備購入費：当初計画時より増額となったため(26)
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	390千円	390千円	図書購入費	0千円	7, 500千円	7, 500千円	
		共 同 研 究 費 等	810 2, 350千円	2, 500千円	設備購入費	0千円	6, 200 18, 500千円	76, 000 18, 500千円	
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		1, 240千円	960千円	960千円	960千円	－	－		
	学生納付金以外の維持方法の概要		資産運用収入及び手数料収入等を充当する。						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成26年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(26)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	中村学園大学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
栄養科学部 栄養科学科	4 年	200 人	3年次 20 人	840 人	学士 (栄養科学)	1.06 倍	平成14年度	福岡県福岡市 城南区別府 5丁目7番1号	
教育学部 児童幼児教育学科	4	220	3年次 10	900	学士 (教育学)	1.13	平成23年度		平成23年4月設置 (教育学部)
人間発達学部 人間発達学科 幼児発達学専攻	4	—	—	—	学士 (人間発達学)	—	平成14年度		平成23年度より 学生募集停止 (人間発達学部)
児童発達学専攻	4	—	—	—	学士 (人間発達学)	—	平成14年度		
流通科学部 流通科学科	4	220	3年次 20	920	学士 (流通科学)	1.22	平成12年度		
大 学 の 名 称	中村学園大学大学院								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
栄養科学研究科 栄養科学専攻 (博士前期課程)	2	6	—	12	修士 (栄養科学)	1.25	平成2年度	福岡県福岡市 城南区別府 5丁目7番1号	
(博士後期課程)	3	3	—	9	博士 (栄養科学)	0.16	平成16年度		
流通科学研究科 流通科学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (流通科学)	1.15	平成16年度		
人間発達学研究科 人間発達学専攻 (修士課程)	2	5	—	10	修士 (人間発達学)	0.70	平成17年度		

大 学 の 名 称	中村学園大学短期大学部								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人		倍			
食物栄養学科	2	150	—	300	短期大学士 (食物栄養学)	1.09	昭和32年度	福岡県福岡市 城南区別府 5丁目7番1号	
キャリア開発学科	2	150	—	300	短期大学士 (家政経済学)	1.12	平成19年度		
幼児保育学科	2	190	—	380	短期大学士 (保育学)	1.13	昭和44年度		

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部、学科）、大学院（専攻）及び短期大学（学科）（A C対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。（ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）
- ・ 「平均定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程）単位で記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

＜教育学部 児童幼児教育学科＞

(1) 担当教員表

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授 (学部長)	福田 伸光 (69)	平成23年4月	音楽の世界 スタディ・スキルⅠ 音楽Ⅰピアノ 音楽Ⅱピアノ 器楽 研究ゼミ 卒業研究	兼任	講師	福田 伸光 (70) 原田 大志 (52)	平成24年4月 平成26年4月	音楽の世界 音楽の世界	非常勤講師として担当(24) 福田伸光講師就任辞退による担当者変更(26)
					専	講師	吉松 遊佳 (47)	平成24年4月	音楽Ⅰピアノ 音楽Ⅱピアノ 器楽 研究ゼミ 卒業研究	福田伸光教授が一身上の都合によりH24年3月31日付で退職した為、担当者変更(24)
					専	准教授	橋本 義徳 (61)	平成23年4月	スタディ・スキルⅠ	橋本義徳准教授採用に伴う担当者変更(23)
専	教授	青木 英実 (57)	平成23年4月	スタディ・スキルⅠ スタディ・スキルⅣ 幼児教育課程総論Ⅱ 幼児指導 保育原理B 教育史 研究ゼミ 卒業研究	専	教授	占部 賢志 (60)	平成23年4月	スタディ・スキルⅠ	占部賢志教授採用に伴う担当者変更(23)
					専	教授	青木 英実 (58)	平成24年4月	スタディ・スキルⅠ	認可時担当者に変更(24)
					専	准教授	石田 靖弘 (51)	平成25年4月	スタディ・スキルⅠ	石田靖弘准教授採用に伴う担当者変更(25)
					専	講師	石黒 万里子 (35)	平成24年4月	スタディ・スキルⅣ	授業内容を考慮し、担当者変更(24)
					専	准教授	坂本 真由美 (49)	平成25年4月	スタディ・スキルⅣ	石黒万里子准教授退職に伴う担当者変更(25)
									幼児理解	教職課程認定申請における指示により「幼児指導」を「幼児理解」に変更(23)
専	教授	井上 寛七 (62)	平成23年4月	スタディ・スキルⅠ スタディ・スキルⅡ 基礎造形Ⅱ 造形A 研究ゼミ 卒業研究	兼任	講師	原 陽一郎 (48)	平成26年4月	保育原理B	科目の特性により適合した教員に変更(26)
					専	教授	笠原 正洋 (48)	平成23年4月	スタディ・スキルⅠ スタディ・スキルⅡ	科目の特性により適合した教員に変更(23)
									スタディ・スキルⅢ 造形B 基礎造形Ⅰ	授業内容を考慮し、科目の追加(24) 授業内容を考慮し、科目の追加(25) 中野隆二准教授退職及び吹氣弘高准教授採用に伴う担当者変更(26)
専	教授	笠原 正洋 (48)	平成23年4月	スタディ・スキルⅢ 発達心理学A 精神保健 保育・教職実践演習 (幼稚園) 知的障害者の心理 特別支援学校教育実習 特別支援学校教育実習 研究ゼミ 卒業研究	専	准教授	吹氣 弘高 (59)	平成26年4月	基礎造形Ⅱ	吹氣弘高准教授採用に伴う担当者変更(26)
					専	教授	占部 賢志 (60) 井上 寛七 (63)	平成23年4月 平成24年4月	スタディ・スキルⅢ スタディ・スキルⅢ	占部賢志教授採用に伴う担当者変更(23) 授業内容を考慮し、担当者変更(24)
									スタディ・スキルⅠ スタディ・スキルⅡ 保育士養成課程改正(H22.7)により「精神保健」を廃止(23) 保育相談支援 保育内容人間関係Ⅰ 保育内容人間関係Ⅱ	科目の特性により適した教員に変更の為、科目追加(23) 保育士養成課程改正(H22.7)により「科目追加(23)」を廃止(23) 保育士養成課程改正(H22.7)により科目追加(23) 科目の特性により適した教員に変更の為、科目追加(24) 科目の特性により適した教員に変更の為、科目追加(25)
専	教授	笠原 正洋 (48)	平成23年4月	スタディ・スキルⅢ 発達心理学A 精神保健 保育・教職実践演習 (幼稚園) 知的障害者の心理 特別支援学校教育実習 特別支援学校教育実習 研究ゼミ 卒業研究	専	教授	占部 賢志 (63)	平成26年4月	スタディ・スキルⅠ	コマ調整のため、担当者変更(26)
					専	准教授	藤瀬 教也 (54)	平成26年4月	知的障害者の心理・生理・病理 特別支援学校教育実習指導 特別支援学校教育実習	教職課程認定申請における指示により「知的障害者の心理」を廃止し、「知的障害者の心理・生理・病理」を新設(23) 藤瀬教也准教授採用に伴う担当者変更(26) 教職課程認定申請における指示により「特別支援学校教育実習研究」を「特別支援学校教育実習指導」に変更(23) 藤瀬教也准教授採用に伴う担当者変更(26) 藤瀬教也准教授採用に伴う担当者変更(26)

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	古賀 範雄 (58)	平成23年4月	スタディ・スキルⅠ スタディ・スキルⅡ 幼児と運動A 幼児と運動B 研究ゼミ 卒業研究	専	准教授	野中 千都 (44)	平成24年4月	スタディ・スキルⅡ	授業内容を考慮し、担当者変更(24)
					兼任	講師	杉山 佳生 (48)	平成25年4月	生涯スポーツ実習	保育士養成課程改正(H22.7)による科目追加(23)
									生涯スポーツ実習	担当コマ超過のため、担当者変更(25)
									平成26年4月 生涯スポーツ実習 幼児と運動A	中島憲子准教授長期海外研修のため、担当者変更(26)
専	教授	相良 康弘 (57)	平成23年4月	生物学 スタディ・スキルⅢ スタディ・スキルⅣ 自然科学概論 自然科学A 研究ゼミ 卒業研究	兼任	講師	向坂 幸雄 (37)	平成24年4月	生物学	担当コマ超過の為、担当者変更(24)
					専	講師	山田 朋子 (43)	平成24年4月	スタディ・スキルⅢ	授業内容を考慮し、担当者変更(24)
					専	教授	佐々木 美智子 (64)	平成24年4月	スタディ・スキルⅣ	授業内容を考慮し、担当者変更(24)
					兼任	講師	山田 学 (60) 吹氣 弘高 (59)	平成25年4月	スタディ・スキルⅠ	深町健一郎准教授退職に伴う科目追加(24)
								平成26年4月	スタディ・スキルⅠ	コマ調整の為、担当者変更(25)
								平成26年4月	スタディ・スキルⅠ	吹氣弘高准教授採用に伴う担当者変更(26)
専	教授	佐々木 美智子 (63)	平成23年4月	スタディ・スキルⅡ 児童福祉各論 子育て支援論 介護等体験実習 介護等体験実習研究 児童家庭福祉 研究ゼミ 卒業研究	専	講師	吉松 遊佳 (47)	平成24年4月	スタディ・スキルⅡ	授業内容を考慮し、担当者変更(24)
									児童福祉 スタディ・スキルⅣ	保育士養成課程改正(H22.7)により「児童家庭福祉」を「児童福祉」に変更(23) 授業内容を考慮し、科目追加(24)
専	教授	昇地 勝人 (67)	平成23年4月	スタディ・スキルⅢ 特別支援教育総論 養護原理A 発達援助論 肢体不自由者の心理 肢体不自由教育総論 肢体不自由者の指導 の理論と実際 研究ゼミ 卒業研究					社会的養護A 障がい児保育 肢体不自由者の心理・生理・病理	保育士養成課程改正(H22.7)により「養護原理A」を「社会的養護A」に、「発達援助論」を「障がい児保育」に変更(23) 教職課程認定申請における指示により「肢体不自由者の心理」を廃止し、「肢体不自由者の心理・生理・病理」を新設(23)
					専	准教授	藤瀬 教也 (54)	平成26年4月	スタディ・スキルⅢ 特別支援教育総論 肢体不自由者の心理・生理・病理 肢体不自由教育総論 研究ゼミ 卒業研究	昇地勝人教授退職及び藤瀬教也准教授採用に伴う担当者変更(26)
					専	教授	針塚 進 (65)	平成26年4月	肢体不自由者の指導の理論と実際	昇地勝人教授退職に伴う担当者変更(26)
					専	准教授	吉川 昌子 (56)	平成26年4月	障がい児保育	昇地勝人教授退職に伴う担当者変更(26)
					兼任	講師	昇地 勝人 (70)	平成26年4月	社会的養護A 社会的養護B	非常勤として担当(26)
専	教授	島内 博行 (63)	平成23年4月	数学 スタディ・スキルⅣ 数学概論 算数科教育法Ⅰ 算数科教育法Ⅱ 幼児と数・形 数学特論A 数学特論B 研究ゼミ 卒業研究	専	教授	古相 正美 (54)	平成24年4月	スタディ・スキルⅣ	授業内容を考慮し、担当者変更(24)
					専	准教授	平田 繁 (53)	平成26年4月	スタディ・スキルⅣ	平田繁准教授が付属園園長に就任したことに伴い、認可時担当者に変更(26)
					兼任	講師	太田 昇一 (63)	平成24年4月	数学概論	コマ数超過の為、担当者変更(24) 授業内容を考慮し、認可時担当者を追加(26)
					専	教授	崔 光善 (70)	平成24年4月	スタディ・スキルⅢ	柳治男教授退職に伴う担当者変更(23)
					専	教授	相良 康弘 (59)	平成25年4月	スタディ・スキルⅢ	授業内容を考慮し、担当者変更(24) 崔光善教授退職に伴う、担当者変更(25)
					兼任	講師	太田 昇一 (64)	平成24年4月	数学特論A	コマ数超過の為、担当者変更(25)
					兼任	講師	太田 昇一 (65)	平成26年4月	数学	コマ数超過の為、担当者変更(26)
					専	准教授	橋本 義徳 (64)	平成26年4月	スタディ・スキルⅡ スタディ・スキルⅡ	授業内容を考慮し、科目追加(24) コマ調整のため、担当者変更(26)

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	新ヶ江 登美夫 (58)	平成23年4月	情報処理 A 情報処理 B スタディ・スキルⅢ スタディ・スキルⅣ 教育情報処理 A 研究ゼミ 卒業研究	専	教授	望田 研吾 (65)	平成24年4月	スタディ・スキルⅣ	授業内容を考慮し、担当者変更 (24)
					兼任	講師	大浦 洋子 (56)	平成24年4月	情報処理 A	担当コマ超過の為、担当者変更 (24)
					専	講師	吉松 遊佳 (49)	平成26年4月	スタディ・スキルⅢ	コマ調整のため、担当者変更 (26)
									マθηματικά 17 演習 教育情報処理 B	科目の特性により適した教員に変更の為、科目追加 (24) 授業内容を考慮し、科目追加 (26)
専	教授	田中 浩子 (63)	平成23年4月	スタディ・スキルⅠ スタディ・スキルⅣ 保育内容健康Ⅰ 保育内容健康Ⅱ 体育 A 幼児と運動 C 研究ゼミ 卒業研究	専	教授	古相 正美 (53)	平成23年4月	スタディ・スキルⅠ	科目の特性により適した教員に変更 (23)
					専	教授	占部 賢志 (61)	平成24年4月	スタディ・スキルⅠ	授業内容を考慮し、担当者変更 (24)
					専	准教授	野中 千都 (46)	平成25年4月	スタディ・スキルⅠ	コマ数調整のため、担当者変更 (25)
					専	准教授	坂本 真由美 (50)	平成26年4月	スタディ・スキルⅠ	コマ数調整のため、担当者変更 (26)
					専	准教授	吉川 昌子 (54)	平成24年4月	スタディ・スキルⅣ	授業内容を考慮し、担当者変更 (24)
					兼任	講師	桧垣 淳子 (47)	平成24年4月	保育内容健康Ⅰ	担当コマ超過の為、担当者変更 (24)
					専	准教授	中野 裕史 (44)	平成25年4月	体育 A	田中 浩子教授退職に伴う、担当者変更 (25)
					専	准教授	中野 裕史 (44)	平成25年4月	スタディ・スキルⅡ スタディ・スキルⅡ	科目の特性により適した教員に変更の為、科目追加 (23) 田中 浩子教授退職に伴う、担当者変更 (25)
					兼任	講師	田中 浩子 (65)	平成25年4月	保育内容健康Ⅱ 幼児と運動 C	非常勤として担当 (25)
					専	講師	桧垣 淳子 (49)	平成26年4月	幼児と運動 C	桧垣淳子講師採用に伴う担当者変更 (26)
専	教授	崔 光 善 (69)	平成23年4月	リーダーシップ論 教育心理学 研究ゼミ 卒業研究	専	講師	野上 俊一 (38)	平成25年4月	心理学 心理学	受講者数過多による科目追加 (23) 崔光善教授退職に伴う担当者変更 (25)
					専	教授	相良 康弘 (59)	平成25年4月	スタディ・スキルⅢ スタディ・スキルⅢ	授業内容を考慮し、科目追加 (24) 崔光善教授退職に伴う担当者変更 (25)
					兼任	講師	池田 浩 (35)	平成25年4月	リーダーシップ論	崔光善教授退職に伴う担当者変更 (25)
					専	教授	針塚 進 (64)	平成25年4月	教育心理学 研究ゼミ 卒業研究	崔光善教授退職及び針塚進教授採用に伴う担当者変更 (25)

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	古相 正美 (53)	平成23年4月	スタディ・スキルⅡ 保育内容言葉Ⅰ 保育内容言葉Ⅱ 児童文化 幼稚園保育所体験実 習 研究ゼミ 卒業研究	専	教授	占部 賢志 (61)	平成24年4月	スタディ・スキルⅠ スタディ・スキルⅠ	科目の特性により適合した教員に変更の為、科目追加 (23) 授業内容を考慮し、担当者変更 (24)
					専	教授	島内 博行 (64)	平成24年4月	スタディ・スキルⅡ	授業内容を考慮し、担当者変更 (24)
					専	准教授	野中 千都 (45)	平成25年4月	保育内容言葉Ⅱ	授業内容を考慮し、担当者変更 (25)
					専	准教授	野中 千都 (46)	平成26年4月	児童文化表現 児童文化表現	保育士養成課程改正 (H22. 7) により「児童文化」を「児童文化表現」に変更 (23) 授業内容を考慮し、担当者変更 (26)
									文学 中村学 スタディ・スキルⅣ 国語概論 児童文学 国語特論	受講者数過多による科目追加 (23) 学士課程教育充実の為、科目新設 (24) 授業内容を考慮し、科目追加 (24) 授業内容を考慮し、科目追加 (25) 授業内容を考慮し、科目追加 (25) 授業内容を考慮し、科目追加 (26)
専	教授	柳 治男 (70)	平成23年4月	スタディ・スキルⅢ 教育原理 教育制度論 初等教育課程総論 教職実践演習 (小・幼) 研究ゼミ 卒業研究	専	教授	島内 博行 (63)	平成23年4月	スタディ・スキルⅢ	柳治男教授が一身上の都合によりH23年3月31日付で退職した為、担当者変更 (23)
					専	教授	崔 光善 (70)	平成24年4月	スタディ・スキルⅢ	授業内容を考慮し、担当者変更 (24)
					専	教授	望田 研吾 (64)	平成23年4月	教育原理 教育制度論 初等教育課程総論 教職実践演習 (小・幼) 研究ゼミ 卒業研究	柳治男教授が一身上の都合によりH23年3月31日付で退職した為、担当者変更 (23)
専	准教授	木原 美樹子 (45)	平成23年4月	総合基礎英語 A 英語リスニング B 英語・文化海外研修 隔年 スタディ・スキルⅢ スタディ・スキルⅣ 日英文化比較 初等英語教育法 研究ゼミ 卒業研究	兼任	講師	生田 和也 (28)	平成23年4月	英語リスニング B	科目の特性により適合した教員に変更 (23)
					兼任	講師	鮫島 千明 (27)	平成24年4月	英語リスニング B 英語リスニング B	担当教員の追加 (24) 認可時担当者に変更 (25)
					兼任	講師	吉村 理一 (25)	平成26年4月	英語リスニング B	担当コマ超過のため担当者変更 (26)
					兼任	教授	山根 一文 (61)	平成24年4月	英語・文化海外研修 隔年	他学部との共同開講科目であり、平成24年度は山根一文教授担当 (24)
					専	准教授	中島 憲子 (41)	平成24年4月 平成26年4月	スタディ・スキルⅢ スタディ・スキルⅢ	授業内容を考慮し、担当者変更 (24) 中島憲子准教授長期海外研修のため、認可時担当者に変更 (26)
					専	准教授	宮坂 明 (49)	平成24年4月	スタディ・スキルⅣ	授業内容を考慮し、担当者変更 (24)
					専	准教授	吹氣 弘高 (59)	平成26年4月	スタディ・スキルⅡ スタディ・スキルⅡ	授業内容を考慮し、科目追加 (24) コマ調整のため、担当者変更 (26)
専	准教授	中野 秀雄 (67)	平成23年4月	スタディ・スキルⅡ 国語概論 国語科教育法Ⅰ 国語科教育法Ⅱ 生徒指導 研究ゼミ 卒業研究	専	教授	田中 浩子 (63)	平成23年4月	スタディ・スキルⅡ	中野秀雄准教授が一身上の都合によりH23年3月31日付で退職した為、担当者変更 (23)
					専	准教授	橋本 義徳 (61)	平成23年4月	国語概論 国語科教育法Ⅰ 国語科教育法Ⅱ 研究ゼミ 卒業研究	
					兼任	講師	川野 司 (63)	平成25年4月	生徒指導	

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	中野 裕史 (42)	平成23年4月	健康・スポーツ科学 演習 健康・スポーツ科学 実習 スタディ・スキルⅠ 体育B 運動発達・学習論 研究ゼミ 卒業研究					生涯スポーツ実習	保育士養成課程改正(H22.7)により「健康・スポーツ 科学演習」を廃止し、「生涯スポーツ実習」を新設 (23)
									発達障害者の教育 幼児と運動B スタディ・スキルⅡ 体育A	教育課程充実の為、科目追加(23) 科目の特性により適した教員に変更の為、科目追加 (24) 田中 浩子教授退職に伴い、科目追加(25) 田中 浩子教授退職に伴い、科目追加(25)
					専	教授	古賀 範雄 (60)	平成25年4月	幼児と運動A 幼児と運動A	科目の特性により適した教員に変更の為、科目追加 (24) 中野 裕史准教授担当が超過のため、担当者変更(25)
					専	講師	後任未定 桧垣 淳子 (49)	平成25年9月	体育B	専任新任教員採用及び中野裕史准教授担当が超過の ため、担当者変更(25) 後任は平成25年9月から着任予定であり、科目開講前 であるため、支障はない。 桧垣淳子講師採用に伴う担当者決定(26)
専	准教授	中野 隆二 (59)	平成23年4月	スタディ・スキルⅢ 図画工作科教育法Ⅰ 保育内容表現造形Ⅰ 基礎造形Ⅰ 保育・教職実践演習 (幼稚園) 研究ゼミ 卒業研究	専	講師	野上 俊一 (37)	平成24年4月	スタディ・スキルⅢ スタディ・スキルⅢ	授業内容を考慮し、担当者変更(24) 認可時担当者に変更(25)
					専	講師	桧垣 淳子 (49)	平成26年4月	スタディ・スキルⅢ	中野隆二准教授退職に伴う担当者変更(26)
					兼任	講師	古賀 和博 (48)	平成26年4月	保育内容表現造形Ⅱ 保育内容表現造形Ⅱ	授業内容を考慮し、科目追加(25) 中野隆二准教授退職に伴う担当者変更(26)
					専	教授	井上 寛七 (65)	平成26年4月	基礎造形Ⅰ	中野隆二准教授退職に伴う担当者変更(26)
					専	准教授	吉松 遊佳 (49)	平成26年4月	保育・教職実践演習(幼稚園)	中野隆二准教授退職に伴う担当者変更(26)
					専	准教授	吹氣 弘高 (59)	平成26年4月	図画工作科教育法Ⅰ 研究ゼミ 卒業研究	中野隆二准教授退職及び吹氣弘高准教授採用に伴う 担当者変更(26)
					兼任	講師	中野 隆二 (62)	平成26年4月	保育内容表現造形Ⅰ	非常勤として担当(26)
専	准教授	日高 晃昭 (66)	平成23年4月	スタディ・スキルⅡ 理科教育法Ⅰ 理科教育法Ⅱ 教職実践演習(小・幼) 小学校教育実習研究Ⅰ 小学校教育実習研究Ⅱ 小学校教育実習 教育課程研究 自然科学B 研究ゼミ 卒業研究					小学校教育実習指導Ⅰ 小学校教育実習指導Ⅱ	教職課程認定申請における指示により「小学校教育 実習研究Ⅰ」を「小学校教育実習指導Ⅰ」に、「小 学校教育実習研究Ⅱ」を「小学校教育実習指導Ⅱ」 に変更(23)
					専	准教授	石田 靖弘 (51)	平成25年4月	スタディ・スキルⅡ 理科教育法Ⅰ 理科教育法Ⅱ 教職実践演習(小・幼) 小学校教育実習指導Ⅰ 自然科学B 研究ゼミ 卒業研究	日高晃昭准教授退職及び石田靖弘准教授採用に伴う 担当者変更(25)
					専	准教授	橋本 義徳 (63)	平成25年4月	小学校教育実習指導Ⅱ 小学校教育実習	日高晃昭准教授退職に伴う担当者変更(25)
					専	准教授	平田 繁 (52)	平成25年4月	教育課程研究	日高晃昭准教授退職に伴う担当者変更(25)

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	平田 繁 (50)	平成23年4月	社会科概論 社会科教育法Ⅰ 社会科教育法Ⅱ 道徳教育研究 特別活動 小学校教育実習研究Ⅰ 小学校教育実習研究Ⅱ 小学校教育実習 学校・学級経営論 研究ゼミ 卒業研究	専	教授	占部 賢志 (60)	平成23年4月	社会科概論	占部賢志教授採用に伴い、担当者を変更(23)
					兼任	講師	豊 嶋 啓司 (51)	平成24年4月	社会科教育法Ⅰ	コマ数超過の為、超過分は担当者変更(24)
					兼任	講師	木村 俊明 (65)	平成26年4月	社会科教育法Ⅰ	平田繁准教授が付属園園長に就任したに伴う、 担当者変更(26)
									道徳教育指導論 小学校教育実習指導Ⅰ 小学校教育実習指導Ⅱ	教職課程認定申請における指示により「道徳教育研究」を「道徳教育指導論」に、「小学校教育実習研究Ⅰ」を「小学校教育実習指導Ⅰ」に、「小学校教育実習研究Ⅱ」を「小学校教育実習指導Ⅱ」に変更(23)
					専	准教授	橋本 義徳 (63)	平成25年4月	小学校教育実習指導Ⅱ	平田繁准教授担当コマ数超過のため、担当者変更(25)
									生活科教育法Ⅰ スタディ・スキルⅣ 教育課程研究	科目の特性により適した教員に変更の為、科目追加(24) 平田繁准教授が付属園園長に就任したに伴い、 担当者から削除(26) 深町健一郎准教授退職に伴う科目追加(24) 日高晃昭准教授退職に伴う科目追加(25)
					専	准教授	島内 博行 (66)	平成26年4月	スタディ・スキルⅣ	平田繁准教授が付属園園長に就任したに伴う、 担当者変更(26)
					専	准教授	橋本 義徳 (64)	平成26年4月	小学校教育実習	平田繁准教授が付属園園長に就任したに伴う、 担当者変更(26)
専	准教授	深町 健一郎 (54)	平成23年4月	スタディ・スキルⅠ スタディ・スキルⅣ 国語概論 児童文学 国語特論 研究ゼミ 卒業研究	専	准教授	野中 千都 (44)	平成24年4月	国語概論 児童文学 国語特論 研究ゼミ 卒業研究	深町健一郎准教授が一身上の都合によりH24年3月31日付で退職した為、担当者変更(24)
					専	教授	相良 康弘 (58)	平成24年4月	スタディ・スキルⅠ	
					専	准教授	平田 繁 (51)	平成24年4月	スタディ・スキルⅣ	
					専	教授	古相 正美 (56)	平成26年4月	国語概論 児童文学 国語特論	科目の特性により適合した教員に変更(26)
専	准教授	宮坂 明 (48)	平成23年4月	スタディ・スキルⅢ 音楽科教育法Ⅰ 音楽科教育法Ⅱ 音楽Ⅰ歌唱 音楽Ⅱ歌唱 教職実践演習(小・幼) 声楽 研究ゼミ 卒業研究	兼任	講師	島崎 千里 (39)	平成24年4月	音楽科教育法Ⅰ	コマ数超過の為、超過分は担当者変更(24)
					兼任	講師	石井 美香 (43)	平成25年4月	音楽科教育法Ⅰ	宮坂明准教授が付属園園長に就任したに伴う、 担当者の追加(25)
					兼任	講師	島崎 千里 (40)	平成25年4月	音楽科教育法Ⅱ	宮坂明准教授が付属園園長に就任したに伴う、 担当者の追加(25)
					兼任	講師	石井 美香 (43)			
					専	教授	占部 賢志 (62)	平成25年4月 平成26年4月	スタディ・スキルⅣ スタディ・スキルⅣ スタディ・スキルⅣ	授業内容を考慮し、科目追加(24) 宮坂明准教授が付属園園長に就任したに伴う、 担当者変更(25) 授業内容を考慮し、科目追加(26)
					兼任	講師	杉本 愛子 (63)	平成25年4月	音楽Ⅱ歌唱	宮坂明准教授が付属園園長に就任したに伴う、 担当者変更(25)
					専	教授	占部 賢志 (63)	平成26年4月	スタディ・スキルⅢ	授業内容を考慮し、担当者変更(26)

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	石黒 万里子 (34)	平成23年4月	教職研究 保育・教職実践演習 (幼稚園) 幼稚園教育実習研究 A 幼稚園教育実習研究 B 幼稚園教育実習 A 幼稚園教育実習 B 教育社会学 研究ゼミ 卒業研究					幼稚園教育実習指導 A 幼稚園教育実習指導 B スタディ・スキルⅣ	教職課程認定申請における指示により「幼稚園教育実習指導A」を「幼稚園教育実習指導A」に、「幼稚園教育実習指導B」を「幼稚園教育実習指導B」に変更 (23) 授業内容を考慮し、科目追加 (24)
					専	准教授	坂本 真由美 (49)	平成25年4月	スタディ・スキルⅣ 教職研究 保育・教職実践演習 (幼稚園) 幼稚園教育実習指導 A 幼稚園教育実習指導 B 幼稚園教育実習 A 幼稚園教育実習 B 教育社会学 研究ゼミ 卒業研究	石黒万里子講師退職及び坂本真由美准教授採用に伴う担当者変更 (25)
					専	准教授	野中 千都 (46)	平成26年4月	幼稚園教育実習指導 B 幼稚園教育実習 B	授業内容を考慮して、担当者追加 (26)
専	講師	Jonathan Butler Britten (53)	平成23年4月	英語コミュニケーション A 英語コミュニケーション B	兼任	講師	トリス・ジョンズ (37) ロバート・サザーランド (54)	平成24年4月	英語コミュニケーション A	授業内容を考慮し、担当者追加 (24)
					兼任	講師	ヘンリー・ヤミラハ (32)	平成24年4月	英語コミュニケーション A	授業内容を考慮し、担当者追加 (24)
					兼任	講師	ヘンリー・アンガス (46)	平成25年4月	英語コミュニケーション A	コマ調整のため、担当者変更 (25)
					兼任	講師	ロバート・サザーランド (54)	平成24年4月	英語コミュニケーション B	授業内容を考慮し、担当者追加 (24)
					兼任	講師	ナイジェル・ストット (48) ウィルキンソン・サイモン ガリー (34) ヘンリー・ヤミラハ (32)	平成24年4月	英語コミュニケーション B	授業内容を考慮し、担当者追加 (24)
					兼任	講師	ヘンリー・アンガス (46) マーク・ハワース (40)	平成25年4月	英語コミュニケーション B	コマ調整のため、担当者変更 (25)
専	講師	中島 憲子 (40)	平成23年4月	生涯スポーツ論 スタディ・スキルⅡ 体育科教育法Ⅰ 体育科教育法Ⅱ 体育 C 研究ゼミ 卒業研究	専	准教授	木原 美樹子 (46)	平成24年4月	スタディ・スキルⅡ	授業内容を考慮して、担当者変更 (24)
					専	准教授			生涯スポーツ実習 幼児と運動 A スタディ・スキルⅢ	保育士養成課程改正 (H22. 7) により科目新設 (23) 職位変更 (23) 科目の特性により適した教員に変更の為、科目追加 (24) 授業内容を考慮し、科目追加 (24)
					専	教授	古賀 範雄 (60)	平成25年4月	幼児と運動 B	科目の特性により適した教員に変更の為、科目追加 (24) 中島憲子准教授担当コマ超過のため、担当者変更 (25)
									研究ゼミ 卒業研究	中島憲子准教授長期海外研修のため閉講 (26)
					専	教授	古賀 範雄 (61)	平成26年4月	生涯スポーツ実習 幼児と運動 A	中島憲子准教授長期海外研修のため、担当者変更 (26)
					専	准教授	木原 美樹子 (48)	平成26年4月	スタディ・スキルⅢ	中島憲子准教授長期海外研修のため、担当者変更 (26)
					兼任	講師	森山 善彦 (61)	平成26年4月	生涯スポーツ論	中島憲子准教授長期海外研修のため、担当者変更 (26)
					兼任	講師	續木 智彦 (34)	平成26年4月	体育科教育法Ⅰ 体育 C	中島憲子准教授長期海外研修のため、担当者変更 (26)
					兼任	講師	鍾ヶ江 淳一 (53)	平成26年4月	体育科教育法Ⅱ	中島憲子准教授長期海外研修のため、担当者変更 (26)

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	講師	野上 俊一 (36)	平成23年4月	心理学 スタディ・スキルⅠ スタディ・スキルⅡ スタディ・スキルⅣ 教育心理学 教職実践演習(小・幼) 研究ゼミ 卒業研究	兼任	講師	向井 隆久 (35)	平成24年4月 平成25年4月	心理学 心理学	担当コマ超過の為、担当者変更(24) 崔光善教授退職に伴う科目追加(25)
					専	教授	針塚 進 (64)	平成25年4月	スタディ・スキルⅣ	針塚進教授採用に伴う、担当者変更(25)
					専	准教授	中野 隆二 (61)	平成25年4月	幼稚園・保育所体験実習 スタディ・スキルⅢ スタディ・スキルⅢ	科目の特性により適した教員に変更の為、科目追加(24) 授業内容を考慮し、科目追加(24) 認可時担当者に変更(25)
									教育情報処理B	授業内容を考慮し、科目追加(26)
						准教授				職位変更(26)
専	講師	山田 朋子 (42)	平成23年4月	幼児教育課程総論Ⅰ 保育・教職実践演習 (幼稚園) 保育所実習研究A 施設実習研究A 保育所実習A 施設実習A 保育所・施設実習B 保育所・施設実習研究B 研究ゼミ 卒業研究					保育所実習研究B 施設実習研究B スタディ・スキルⅢ	保育士養成課程改正(H22.7)により「保育所・施設実習研究B」を廃止、「保育所実習研究B」及び「施設実習研究B」を新設(23) 授業内容を考慮し、科目追加(24)
					特任	講師	松藤 光生 (29)	平成25年4月	施設実習研究A 施設実習A 施設実習研究B 保育所・施設実習研究B	山田朋子講師担当コマ超過のため、担当者変更(25)
専	助教	城元 寿美 (44)	平成23年4月	知的障害教育総論 特別支援学校教育実習 特別支援学校教育実習研究			吉川 寿美 (44)		知的障害者の心理・生理・病理 保育内容人間関係Ⅰ 保育内容人間関係Ⅱ	教育課程充実の為、担当者追加(23) 改姓(23) 科目の特性により適した教員に変更の為、科目追加(24) 授業内容を考慮し、科目追加(25)
					専	准教授	藤瀬 教也 (54)	平成26年4月	特別支援学校教育実習指導 特別支援学校教育実習	教職課程認定申請における指示により「特別支援学校教育実習研究」を「特別支援学校教育実習指導」に変更(23) 藤瀬教也准教授採用に伴う担当者変更(26) 藤瀬教也准教授採用に伴う担当者変更(26)
専	助教	吉松 遊佳 (46)	平成23年4月	音楽Ⅰピアノ	専	講師			スタディ・スキルⅡ 音楽Ⅱピアノ 器楽 研究ゼミ 卒業研究 保育・教職実践演習(幼稚園)	職位変更(24) 授業内容を考慮し、科目追加(24) 福田伸光教授退職に伴う科目追加(24) 中野隆二准教授退職に伴う担当者変更(26)
					専	教授	新ヶ江登美夫 (61)	平成26年4月	スタディ・スキルⅡ	コマ調整のため担当者変更(26)
									スタディ・スキルⅢ	コマ調整のため科目追加(26)
兼任	准教授	福沢 健 (50)	平成23年4月	文学						
兼任	准教授	本間 学 (55)	平成24年4月	マルチメディア演習	専	教授	新ヶ江登美夫 (59)	平成24年4月	マルチメディア演習	科目の特性により適合した教員に変更(24)
兼任	准教授	水島 多美也 (46)	平成23年4月	経営学	兼任	教授	国吉 澄夫 (63)	平成23年4月	経営学	科目の特性により適合した教員に変更(23)
					兼任	准教授	水島 多美也 (47)	平成24年4月	経営学	担当コマ超過の為、担当者変更(24)
					兼任	准教授	前田 卓雄 (50)	平成25年4月	経営学	前田卓雄准教授採用に伴う、担当者変更(25)
兼任	講師	治京 玉記 (39)	平成23年4月	環境論						

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	田村 知子 (43)	平成23年4月	社会学	兼任	講師	園田 浩之 (39)	平成23年4月	社会学	科目の特性により適合した教員に変更(23)
					兼任	准教授		平成24年4月 平成26年4月 平成24年4月 平成26年4月	現代社会と教育 現代社会と教育 介護等体験実習研究 介護等体験実習研究	教育課程充実の為、科目新設(24) 田村知子準教授退職のため、閉講(26) 授業内容を考慮して、科目追加(24) 田村知子準教授退職のため、担当者から削除(26) 職位変更(25)
兼任	講師	圓入 智仁 (34)	平成25年4月	社会福祉援助技術					相談援助	保育士養成課程改正(H22.7)により「社会福祉援助技術」を「相談援助」に変更(23) 開講コマ数減少のため、担当者から削除(26)
兼任	講師	梶田 鈴子 (54)	平成26年4月	幼児と数・形						担当コマ数超過のため、担当者から削除(26)
兼任	講師	古賀 和博 (45)	平成24年4月	造形B	兼任	講師	蒲池 昌江 (49)	平成23年4月 平成26年4月	アートワールド アートワールド	福地英臣講師就任辞退による担当者変更(23) 科目の内容を考慮し、担当者変更(26)
								平成26年4月	造形B	担当コマ数超過のため、担当者から削除(26)
								平成26年4月	保育内容表現造形Ⅱ	中野隆二准教授退職に伴う科目追加(26)
兼任	講師	小阪 康治 (63)	平成23年4月	哲学 国際文化論 倫理学	兼任	講師	水田 信 (71)	平成23年4月	哲学 国際文化論 倫理学	小阪康治講師就任辞退による担当者変更(23)
					兼任	講師	宮嶋 俊一 (46)	平成25年4月	哲学	水田信講師就任辞退による担当者変更(25)
					兼任	講師	廣田 智子 (28)	平成25年4月	哲学 倫理学	
					兼任	准教授	中村 芳生 (55)	平成25年4月	国際文化論	中村芳生准教授採用に伴う、担当者変更(25)
兼任	講師	酒見 康廣 (60)	平成26年4月	教育情報処理B	専 専	教授 准教授	新ヶ江 登美夫 (61) 野上 俊一 (39)	平成26年4月	教育情報処理B	授業内容を考慮し、担当者変更(26)
兼任	講師	中村 宏子 (55)	平成24年4月	小児保健実習					子どもの保健Ⅱ	保育士養成課程改正(H22.7)により「小児保健実習」を「子どもの保健Ⅱ」に変更(23)
兼任	講師	那須 信樹 (46)	平成23年4月	保育原理 A	兼任	講師	太田 光洋 (48)	平成23年4月	保育原理A	科目の特性により適合した教員に変更(23)
兼任	講師	橋本 弘治 (33)	平成23年4月	情報科学						
兼任	講師	久富 さよ子 (65)	平成24年4月	保育内容表現音楽Ⅰ 保育内容表現音楽Ⅱ	兼任	講師	松園 聡美 (46)	平成24年4月	保育内容表現音楽Ⅱ	久富さよ子講師就任辞退による担当者変更(24)
								平成25年4月	保育内容表現音楽Ⅱ	認可時担当者に変更(25)
					兼任	講師	松園 聡美 (48)	平成26年4月	保育内容表現音楽Ⅱ	久富さよ子講師就任辞退による担当者変更(26)
					兼任	講師	米倉 慶子 (60)	平成24年4月	保育内容表現音楽Ⅱ	久富さよ子講師就任辞退による担当者変更(24)
								平成25年4月	保育内容表現音楽Ⅱ	認可時担当者に変更(25)
					兼任	講師	松園 聡美 (48)	平成26年4月	保育内容表現音楽Ⅰ	久富さよ子講師就任辞退による担当者変更(26)
兼任	講師	松尾 智則 (51)	平成25年4月	教育方法学 保育経営論	兼任	准教授	田村 知子 (45)	平成25年4月	教育方法学	授業内容を考慮し、担当者追加(25)
兼任	講師	森 康博 (66)	平成23年4月	日本国憲法 法学 現代社会と政治	兼任	講師	橋本 一雄 (35)	平成25年4月	日本国憲法 法学	森康博講師就任辞退による担当者変更(25)
兼任	講師	山崎 篤 (46)	平成23年4月	教育相談 発達臨床心理学 発達障害者の心理と教育					発達障害者の教育 メンタルヘルス論	教職課程認定申請における指示により「発達障害者の心理と教育」を廃止し、「発達障害者の教育」を新設(23) 学士課程教育充実の為、科目新設(24)
					専	准教授	中野 裕史 (43)	平成24年4月	発達障害者の教育	科目の特性により適合した教員に変更(24)
					専	准教授	吉川 昌子 (54)	平成24年4月	発達障害者の教育	

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	吉川 昌子 (53)	平成23年4月	障害児の心理検査法 知的障害者の教育課程 と指導法 聴覚障害者の心理と 教育	専	准教授			知的障害者の心理・生理・病理 発達障害者の教育 聴覚障害者の心理・生理・病理 聴覚障害者の教育課程と指導法 スタディ・スキルⅣ 障がい児保育	教育課程充実の為、授業担当者追加 (23) 教育課程充実の為、授業担当者追加 (23) 教職課程認定申請における指示により「聴覚障害者の心理と教育」を廃止し、「聴覚障害者の心理・生理・病理」及び「聴覚障害者の教育課程と指導法」を新設 (23) 配置転換により専任准教授に変更 (23) 授業内容を考慮し、科目追加 (24) 授業内容を考慮し、科目追加 (25)
					専	准教授	藤瀬 教也 (54)	平成26年4月	障害児の心理検査法 聴覚障害者の教育課程と指導法	藤瀬教也准教授採用に伴う担当者変更 (26)
兼任	講師	吉田 弘子 (45)	平成26年4月	食と教育	兼任	講師	宮原 葉子 (42)	平成26年4月	食と教育	科目の特性により適した教員に変更 (24)
兼任	講師	福地 英臣 (38)	平成23年4月	アートワールド	兼任	講師	古賀 和博 (45)	平成23年4月	アートワールド	福地英臣講師就任辞退による担当者変更 (23)
					兼任	講師	蒲池 昌江 (47)	平成24年4月	アートワールド	古賀和博講師海外研修に伴う担当者変更 (24)
					兼任	講師	古賀 和博 (47)	平成25年4月	アートワールド	古賀和博講師海外研修終了のため担当者変更 (25)
					兼任	講師	蒲池 昌江 (47)	平成26年4月	アートワールド	科目の内容を考慮し、担当者変更 (26)
兼任	講師	荒木 常子 (67)	平成26年4月	小児保健C					子どもの保健Ⅲ	保育士養成課程改正 (H22.7) により「小児保健C」を「子どもの保健Ⅲ」に変更 (23)
兼任	講師	伊藤 明夫 (71)	平成23年4月	化学	兼任	講師	山中 幹生 (57)	平成23年4月	化学	伊藤明夫講師就任辞退による担当者変更 (23)
兼任	講師	井上 浩子 (64)	平成23年4月	家庭科概論 家庭科教育法Ⅰ 家庭科教育法Ⅱ	兼任	講師	小嶋 悦子 (60)	平成24年4月	家庭科教育法Ⅰ	井上浩子講師就任辞退による担当者変更 (24)
					兼任	講師	小嶋 悦子 (61)	平成25年4月	家庭科教育法Ⅱ	井上浩子講師就任辞退による担当者変更 (25)
					兼任	講師	小嶋 悦子 (62)	平成26年4月	家庭科概論	井上浩子講師就任辞退による担当者変更 (26)
兼任	講師	岩井 眞實 (56)	平成26年4月	演劇表現				平成24年4月	演劇の世界	学士課程教育充実の為、科目新設 (24)
兼任	講師	氏間 和仁 (40)	平成23年4月	視覚障害者の心理と 教育	兼任	講師	韓 星民 (42)	平成26年4月	視覚障害者の心理・生理・病理 視覚障害者の教育課程と指導法 視覚障害者の心理・生理・病理 視覚障害者の教育課程と指導法	教職課程認定申請における指示により「視覚障害者の心理と教育」を廃止し、「視覚障害者の心理・生理・病理」及び「視覚障害者の教育課程と指導法」を新設 (23) 氏間和仁講師就任辞退による担当者変更 (26)
兼任	講師	宇土 至心 (30)	平成23年4月	経済学	兼任	講師	高崎 春華 (30)	平成23年4月	経済学	宇土至心講師就任辞退による担当者変更 (23)
					兼任	講師	猿渡 剛 (32)	平成26年4月	経済学	高崎春華講師就任辞退による担当者変更 (26)
兼任	講師	大黒 剛 (39)	平成26年4月	養護原理B					社会的養護B	保育士養成課程改正 (H22.7) により「養護原理B」を「社会的養護B」に変更 (23)
					兼任	講師	昇地 勝人 (70)	平成26年4月	社会的養護B	大黒剛講師就任辞退による担当者変更 (26)
兼任	講師	金子 夏代 (62)	平成26年4月	保育実践美術						
兼任	講師	上村 英樹 (67)	平成23年4月	統計学						「統計学入門」新設に伴う、科目廃止 (24)
兼任	講師	河井 伸介 (49)	平成23年4月	社会福祉とボランティア 社会福祉	兼任	講師	園田 浩之 (40)	平成24年4月	社会福祉とボランティア	授業内容を考慮し、担当者追加 (24)
兼任	講師	川下 剛 (35)	平成23年4月	総合基礎英語B 英語リスニングA	兼任	講師	渡邊 晶子 (35)	平成23年4月	総合基礎英語B 英語リスニングA	川下剛講師就任辞退による担当者変更 (23)
					兼任	講師	生田 和也 (28)	平成23年4月	総合基礎英語B 英語リスニングA	
					兼任	講師	吉村 理一 (25)	平成26年4月	総合基礎英語B 英語リスニングA	生田和也講師就任辞退による担当者変更 (26)
兼任	講師	北嶋 玉枝 (60)	平成26年4月	図画工作科教育法Ⅱ	専	准教授	吹氣 弘高 (59)	平成26年4月	図画工作科教育法Ⅱ	吹氣弘高准教授採用に伴う担当者変更 (26)
兼任	講師	金 英姫 (42)	平成25年4月	韓国語コミュニケーションA 韓国語コミュニケーションB					韓国語コミュニケーションA	受講者0名のため閉講 (25)
兼任	講師	佐藤 鉄太郎 (69)	平成23年4月	歴史学 博多学 歴史学特論	専	教授	占部 賢志 (60)	平成23年4月	歴史学 博多学 歴史学特論	占部賢志教授採用に伴う担当者変更 (23)
兼任	講師	瀬里 徳子 (55)	平成24年4月	児童福祉					児童家庭福祉	保育士養成課程改正 (H22.7) により「児童福祉」を「児童家庭福祉」に変更 (23)

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	河浦 龍生 (59)	平成24年4月	児童福祉					児童家庭福祉	保育士養成課程改正 (H22. 7) により「児童福祉」を「児童家庭福祉」に変更 (23)
兼任	講師	重橋 史朗 (45)	平成25年4月	養護内容					社会的養護内容	保育士養成課程改正 (H22. 7) により「養護内容」を「社会的養護内容」に変更 (23)
兼任	講師	進藤 静生 (63)	平成24年4月	小児保健 A 小児保健 B					子どもの保健 I A 子どもの保健 I B	保育士養成課程改正 (H22. 7) により「小児保健A」を「子どもの保健 I A」に、「小児保健B」を「子どもの保健 I B」に変更 (23)
兼任	講師	進野 勇 (70)	平成23年4月	地学	兼任	講師	山岡 均 (45)	平成23年4月	地学	進野勇講師就任辞退による担当者変更 (23)
兼任	講師	千葉 由紀子 (63)	平成25年4月	中国語コミュニケーション A 中国語コミュニケーション B					中国語コミュニケーション B	受講者0名のため閉講 (25)
兼任	講師	堤 直樹 (63)	平成23年4月	生活科概論 生活科教育法 I 生活科教育法 II	専	准教授	平田 繁 (51)	平成24年4月	生活科教育法 I	教育課程充実の為、担当者追加 (24) 平田繁准教授が付属園長に就任したことに伴い、 担当者から削除 (26)
兼任	講師	恒吉 徹三 (47)	平成26年4月	家族援助論					家庭支援論	保育士養成課程改正 (H22. 7) により「家族援助論」を「家庭支援論」に変更 (23)
兼任	講師	寺田 貢 (54)	平成23年4月	物理学	兼任	講師	小隈 龍一郎 (52)	平成24年4月	物理学	寺田貢講師就任辞退による担当者変更 (24)
									物理学	受講者0名のため閉講 (25)
									物理学	受講者0名のため閉講 (26)
兼任	講師	永田 新 (54)	平成26年4月	新生児医学						
兼任	講師	濱田 恵 (28)	平成24年4月	保育内容人間関係 I 保育内容人間関係 II	専	教授	笠原 正洋 (49)	平成24年4月	保育内容人間関係 I	科目の特性により適した教員に変更 (24)
					専	助教	吉川 寿美 (44)			
兼任	講師	林 辰美 (59)	平成23年4月	食の科学 小児栄養学 小児栄養学実習 食と保育	兼任	講師	大仁田 あずさ (36)	平成25年4月	子どもの食と栄養 子どもの食と栄養・実習	保育士養成課程改正 (H22. 7) により「小児栄養学」を「子どもの食と栄養」に、「小児栄養学実習」を「子どもの食と栄養・実習」に変更 (23)
					兼任	講師	宮原 葉子 (41)	平成25年4月	子どもの食と栄養・実習	林辰美講師就任辞退のため、担当者変更 (25)
					兼任	講師	宮原 葉子 (42)	平成26年4月	食と保育	林辰美講師就任辞退のため、担当者変更 (25)
					兼任	講師	宮原 葉子 (42)	平成26年4月	食と保育	科目の特性により適合した教員に変更 (26)
					兼任	講師	宮原 葉子 (42)	平成26年4月	食と保育	科目の特性により適合した教員に変更 (26)
兼任	講師	原 陽一郎 (45)	平成24年4月	乳児保育 A 乳児保育 B	専	准教授	野中 千都 (44)	平成24年4月	乳児保育 A	野中千都准教授採用に伴う担当者変更 (24)
兼任	講師	藤原 教明 (69)	平成23年4月	同和教育	兼任	講師	渡邊 幹夫 (65)	平成25年4月	人権教育	より適切な科目名にするため、「同和教育」を「人権教育」に変更 (25) 藤原教明就任辞退による担当者変更 (25)
兼任	講師	森山 昌弘 (64)	平成24年4月	保育内容環境 I 保育内容環境 II						
兼任	講師	花井 敏男 (62)	平成23年4月	障害者の病理					病弱者の心理・生理・病理 知的障害者の心理・生理・病理 肢体不自由者の心理・生理・病理	教職課程認定申請における指示により「障害者の病理」を廃止、「病弱者の心理・生理・病理」を新設 (23) 教育課程充実の為、担当者追加 (23)
					兼任	講師	宮崎 千明 (59)	平成26年4月	病弱者の心理・生理・病理	花井敏男講師就任辞退のため、担当者変更 (26)
					兼任	講師	小川 弓子 (56)	平成26年4月	知的障害者の心理・生理・病理 肢体不自由者の心理・生理・病理	花井敏男講師就任辞退のため、担当者変更 (26)
兼任	講師	小林 美緒 (33)	平成24年4月	発達心理学 B 発達心理学 C				平成23年4月	心理学	教育課程充実の為、科目追加 (23)
					兼任	講師	向井 隆久 (35)	平成24年4月	心理学	小林美緒講師就任辞退による担当者変更 (24)
兼任	講師	丁子 かおる (38)	平成25年4月	保育内容表現造形 II	専	准教授	中野 隆二 (61)	平成25年4月	保育内容表現造形 II	授業内容を考慮し、担当者変更 (25)
兼任	講師	猪狩 恵美子 (60)	平成23年4月	病弱教育				平成26年4月		他科目との関連性を考慮し、開講期変更 (23)

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	田多良 俊樹 (34)	平成23年4月	文学	教育課程充実の為、担当者追加 (23)
					兼任	講師	池田 祐子 (37)	平成24年4月	文学	田多良俊樹講師就任辞退による担当者変更 (24)
					兼任	講師	藪 敏晴 (53)	平成24年4月	文学	田多良俊樹講師就任辞退による担当者変更 (24)
					兼任	講師	熊原 秀晃 (35)	平成23年4月	健康・スポーツ科学実習 生涯スポーツ実習	教育課程充実の為、担当者追加 (23)
					兼任	講師	大隈 彰道 (69)	平成23年4月 平成24年4月 平成24年4月	数学 数学概論 統計学入門	教育課程充実の為、担当者追加 (23) 教育課程充実の為、担当者追加 (24) 学士課程教育充実の為、科目新設 (24)
					兼任	講師	久保田 美鈴 (55)	平成23年4月	情報処理A 情報処理B	教育課程充実の為、担当者追加 (23)
					兼任	講師	大浦 洋子 (55)	平成23年4月 平成24年4月	情報処理B 情報処理A	教育課程充実の為、担当者追加 (23) 教育課程充実の為、担当者追加 (24)
					兼任	講師	乾 久美 (51)	平成23年4月	健康・スポーツ科学実習	教育課程充実の為、担当者追加 (23)
					兼任	講師	杉山 佳生 (46)	平成23年4月 平成24年4月	健康・スポーツ科学実習 生涯スポーツ実習	教育課程充実の為、担当者追加 (23) 教育課程充実の為、担当者追加 (24)
					兼任	講師	田中 君枝 (61)	平成23年4月	音楽Ⅰ ピアノ	教育課程充実の為、担当者追加 (23)
					兼任	講師	杉本 愛子 (61)	平成23年4月 平成24年4月	音楽Ⅰ 歌唱 音楽Ⅱ 歌唱	教育課程充実の為、担当者追加 (23) 授業内容を考慮し、科目追加 (24)
					兼任	講師	島崎 千里 (38)	平成23年4月	音楽Ⅰ 歌唱	教育課程充実の為、担当者追加 (23)
					兼任	講師	石井 美香 (42)	平成24年4月	音楽Ⅰ 歌唱	島崎千里講師就任辞退による担当者変更 (24)
					兼任 専	講師	野中 千都 (46)	平成26年4月	保育内容総論	保育士養成課程改正 (H22.7)により科目新設、担当者追加 (23) 平成24年度より専任教員として就任 (26)
					兼任	講師	伊藤 英子 (49)	平成24年4月	音楽Ⅱ ピアノ	福田伸光教授退職による担当者変更 (24)
					兼任	講師	加藤 みゆき (50)	平成24年4月	保育内容表現音楽Ⅰ	授業内容を考慮し、担当者追加 (24)
					兼任	講師	佐藤 真人 (54)	平成24年4月	宗教学	学士課程教育充実の為、科目新設 (24)
					兼任	講師	西村 秀樹 (58)	平成24年4月	スポーツ文化	学士課程教育充実の為、科目新設 (24)
					兼任	講師	松隈 紀生 (65)	平成24年4月	食の博多学	学士課程教育充実の為、科目新設 (24)
					兼任	講師	松隈 美紀 (53)	平成24年4月		
					兼任 准教授	三堂 徳孝 (59)	平成24年4月	アジアの食文化事情		学士課程教育充実の為、科目新設 (24)
					兼任	講師	徳井 教孝 (56)	平成24年4月		
					兼任 准教授	徐 涛 (37)	平成24年4月	アジアの経済		学士課程教育充実の為、科目新設 (24)
					兼任	講師	片山 礼二郎 (41)	平成24年4月	九州経済事情	学士課程教育充実の為、科目新設 (24)
					兼任	講師	有岡 律子 (46)	平成24年4月	金融リテラシー	学士課程教育充実の為、科目新設 (24)
					兼任	講師	後藤 道子 (61)	平成24年4月	知的財産論	学士課程教育充実の為、科目新設 (24)
					兼任	講師	田代 俊一郎 (61)	平成24年4月	マスコミ論	学士課程教育充実の為、科目新設 (24)
					兼任	講師	田中 友佳子 (27)	平成24年4月	ジェンダー論	学士課程教育充実の為、科目新設 (24)
					兼任	講師	田村 知子 (44)	平成24年4月	現代社会と教育	学士課程教育充実の為、科目新設 (24) 田村知子準教授退職のため、閉講 (26)

認 可 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	治京 玉記 (40)	平成24年4月	体の科学	学士課程教育充実の為、科目新設 (24)
					兼任	講師	手嶋 康則 (54)	平成24年4月	色彩の科学	学士課程教育充実の為、科目新設 (24)
					兼任	講師	フランク・イ グナツ (30)	平成24年4月	フランス語 I フランス語 II	学士課程教育充実の為、科目新設 (24) 学士課程教育充実の為、科目新設 (24)
					兼任	講師	デニス フォーレス イ ットロ (43)	平成24年4月	スペイン語 I スペイン語 II	学士課程教育充実の為、科目新設 (24) 学士課程教育充実の為、科目新設 (24)

(注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢を、「変更状況」には平成26年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					年 齢 構 成	
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
14	8	5	2	29	12	13	5	2	32	教授：65 准教授：62 講師：62 助教：60	3
(15)	(10)	(4)	(2)	(31)	[△2]	[5]	[0]	[0]	[3]	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
- ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	柳 治男	一身上の都合により退職したため、就任辞退となった。(23)
2	准教授	中野 秀雄	一身上の都合により退職したため、就任辞退となった。(23)
3	教授	福田 伸光	一身上の都合により退職したため、就任辞退となった。(24)
4	准教授	深町 健一郎	一身上の都合により退職したため、就任辞退となった。(24)
5	教授	崔 光善	一身上の都合により退職したため、就任辞退となった。(25)
6	教授	田中 浩子	一身上の都合により退職したため、就任辞退となった。(25)
7	准教授	日高 晃明	一身上の都合により退職したため、就任辞退となった。(25)
8	講師	石黒 万里子	一身上の都合により退職したため、就任辞退となった。(25)
9	教授	昇地 勝人	一身上の都合により退職したため、就任辞退となった。(26)
10	准教授	中野 隆二	一身上の都合により退職したため、就任辞退となった。(26)

- (注) ・ 専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任（就任辞退を含む）等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

両名の就任辞退、退職はやむを得ないものと判断し、同分野同職位の教員を2名（望田研吾教授、橋本義徳准教授）採用した。また、それだけでなく、教育課程充実の為、さらに1名の教員（占部賢志教授）を新規採用するとともに、他学部教員（吉川昌子准教授）を配置転換し、教育学部専任教員とした。このことにより教員2名の純増となった。学部開設前の変更であり、学生へは最初から新任教員で授業を実施できるため、履修等に影響はなかった。(23)

両名の退職はやむを得ないものと判断し、深町健一郎准教授の後任として、同分野の教員（野中千都准教授）を採用した。福田伸光教授の後任としては、吉松遊佳助教が講師へ昇格し、授業担当者にあてた。学生への周知は新年度に配布する冊子やシラバス等で講義内容、教員一覧を掲載した。(24)

教員4名の退職はやむを得ないものと判断し、同分野の教員を採用した。（崔光善教授の後任として針塚進教授を、日高晃明准教授の後任として石田靖弘准教授を、石黒万里子講師の後任として坂本真由美准教授を採用。）また、田中浩子教授の後任としては、平成25年9月1日付けで同分野の教員（職位は准教授）が着任予定である。学生への周知は新年度に配布する冊子やシラバス等で講義内容、教員一覧を掲載した。(25)

教員2名の退職はやむを得ないものと判断し、同分野の教員を採用した。（昇地勝人教授の後任として藤瀬教也准教授を、中野隆二准教授の後任として吹氣弘高准教授を採用。）学生への周知は新年度に配布する冊子やシラバス等で講義内容、教員一覧を掲載した。(26)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(空白ページ)

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成23年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成24年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成25年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成26年2月)	該当なし		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

(空白ページ)

7 その他全般的事項

＜教育学部 児童幼児教育学科＞

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
「保育士養成施設としての教育課程編成」 保育士養成施設として、「児童福祉法施行規則第六条の二第一項第三号の指定保育士養成施設の修業年限及び単位数並びに履修方法」の要件を満たすよう教育課程を編成した。	本学部設置届出後の平成22年7月に「児童福祉法施行規則第六条の二第一項第三号の指定保育士養成施設の修業年限及び単位数並びに履修方法を改正する件」が公布され、この改正告示により保育士養成課程として必要な科目・単位数等に変更が生じたため、児童福祉法施行令第5条第3項に基づき教育課程の変更を行った。(23)

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学的な組織としてFD委員会とFD推進委員会、FD推進センターを設置している。それぞれの役割は以下のとおりであり、委員会の規程を添付する。

- ・ FD委員会：FD推進の中心組織として、FDの基本方針を策定する。
- ・ FD推進委員会：FDの推進計画を策定し、全学的FD推進の企画・実施を行うとともにその点検・評価を行う。
- ・ FD推進センター：FD推進委員会と緊密に連携し、全学FDの研究・実践を進める。

また、教育学部においては学部独自に教育学部FD委員会を設置している。これは、前身の旧人間発達学部において平成19年4月に設置、継続されているもので、学部独自に授業改善、教員の資質向上のため活動の企画・推進を行っている。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

FD委員会は、平成23年度は6回開催した。構成員は教員13名事務職員3名で全員出席を原則としており、平均出席率は96%であった。平成24年度は6回開催した。構成員は教員13名事務職員3名で全員出席を原則としており、平均出席率は95%であった。平成25年度は4回開催した。構成員は教員13名事務職員3名で全員出席を原則としており、平均出席率は97%であった。

FD推進委員会は、平成23年度は4回開催した。構成員は教員20名事務職員1名で全員出席を原則としており、平均出席率は76%であった。平成24年度は5回開催した。構成員は教員19名事務職員2名で全員出席を原則としており、平均出席率は86%であった。平成25年度は3回開催した。構成員は教員20名事務職員2名で全員出席を原則としており、平均出席率は89%であった。

教育学部FD委員会は、平成23年度は11回開催した。構成員は学部長補佐を委員長とし教員3名で組織した。平成24年度は構成員を入れ替え、学部長補佐（委員長）を含む教員4名とし、委員会は10回開催した。平成25年度の委員会構成員は平成24年度から変更無く、委員会は21回開催した。

c 委員会の審議事項等

全学のFD委員会ならびにFD推進委員会については以下の通りである。

（平成23年度）

- ・ 平成23年度事業計画（詳細版）について
- ・ 平成23年度FD推進センター活動計画について
- ・ 第5次中期総合計画について
- ・ 授業出席状況管理システムの導入について
- ・ 平成22年度FD実施計画書・報告書のHP公開について
- ・ 平成23年度教育ワークショップについて
- ・ 平成23年度前学期公開授業について
- ・ 入学前教育実施報告について
- ・ 第4次中期総合計画点検・評価報告書について
- ・ 平成23年度後学期公開授業について
- ・ 第5次中期総合計画集約版（法人提出）について
- ・ シラバス説明会について

- ・FD推進センター 平成23年度事業報告
- ・公開授業（授業参観）の実態と改善
- ・シラバスの現状と改善
- ・授業実施表の現状と改善
- ・成績評価方法・内容の提出について
- ・平成24年度FD推進活動計画（案）について

（平成24年度）

- ・平成24年度 前学期 公開授業について
- ・平成24年度 後学期 公開授業について
- ・FD推進計画第2期および平成24年度FD実施方針について
- ・シラバス、授業実施表、公開授業の結果と今後の対応について
- ・「高大接続教育研究会」の発足について
- ・「FD推進のための教育システム改革 2007」の見直しについて
- ・大学基準協会認証評価受審に伴う委員会の設置と今後のスケジュールについて
- ・FD推進センターの平成24年度事業報告（経過）について
- ・平成25年度シラバスの点検について
- ・平成24年度教育ワークショップの実施について
- ・FD実施報告書・FD実施計画書について
- ・「短期大学部FD研修会」の開催について
- ・「Q-conference2012」の開催について

（平成25年度）

- ・平成25年度公開授業（授業参観）の実施について
- ・平成25年度FD実施方針（推進活動計画）について
- ・平成24年度FD実施報告書・平成25年度FD実施計画書について
- ・FD推進センター 平成24年度事業報告について
- ・FD関連規程の一部変更について
- ・平成25年度 教育ワークショップの実施計画について
- ・教職員交流会について
- ・平成25年度 前学期 公開授業（授業参観）の実施結果について
- ・平成25年度 FD実施計画書（新様式）について
- ・FD推進センター 平成25年度FD実施報告について
- ・FD推進センター 平成26年度FD実施方針（案）について
- ・「FD推進のための教育システム改革2007」見直し検討委員会の新体制について
- ・平成25年度 FD実施報告書の提出依頼について
- ・平成26年度 FD実施計画書の提出依頼について
- ・平成25年度 後学期 公開授業（授業参観）実施結果について
- ・平成26年度シラバスの点検について
- ・平成25年度FD実施方針の報告、平成24年度FD推進センター事業報告
- ・各学部・学科の平成24年度FD実施報告、平成25年度FD実施計画の報告と公開に向けた資料の整備について
- ・自己点検評価報告書の作成分担・日程等について
（大学評価受審委員会・自己点検評価報告書作成委員会合同会議を受けた対応）

（平成26年度予定）

- ・平成26年度事業計画について
- ・平成26年度FD推進計画について
- ・第6次中期総合計画について
- ・平成26年度の事業報告について
- ・平成26年度公開授業について
- ・平成26年度授業についてのアンケートについて
- ・シラバスの改善について
- ・各学部の教育方針、カリキュラム、教育ポリシーについて
- ・大学基準協会認証評価受審対応について

教育学部FD委員会については以下の通りである。

（平成23年度）

- ・平成22年度学部FD活動報告書について
- ・平成23年度学部FD委員会活動計画について
- ・平成23年度学部定例FD研修会について
- ・平成23年度教育ワークショップについて
- ・平成23年度プロジェクト研究報告会について
- ・学生の入学前教育・補完教育について

(平成24年度)

- ・平成23年度学部FD活動報告書について
- ・平成24年度学部FD委員会活動計画について
- ・平成24年度学部定例FD研修会について
- ・平成24年度教育ワークショップについて
- ・平成24年度プロジェクト研究報告会について
- ・学生の入学前教育・補完教育・初年次教育について
- ・e-ラーニングについて

(平成25年度)

- ・平成24年度学部FD活動報告書について
- ・平成25年度学部FD委員会活動計画について
- ・平成25年度学部定例FD研修会について
- ・平成25年度教育ワークショップについて
- ・学生の入学前教育・補完教育・初年次教育について
- ・新カリキュラムの検討について
- ・自己点検・評価について

(平成26年度予定)

- ・平成25年度学部FD活動報告書について
- ・平成26年度学部FD委員会活動計画について
- ・平成26年度学部定例FD研修会について
- ・平成26年度教育ワークショップについて
- ・初年次教育と教職・保育職指導について
- ・新カリキュラムについて
- ・認定子ども園制度への対応について

② 実施状況

a 実施内容

- ・授業についてのアンケート（全学）
- ・公開授業（全学）
- ・教育ワークショップ（全学）
- ・FD研修会（教育学部）

b 実施方法

<公開授業>

前学期と後学期の2回、教員が担当する授業について、授業を公開し、教職員が参観する。参観者はレポートを提出し、被参観者は参観者のレポートを元に考察を作成する。

<教育ワークショップ>

授業改善を目的として全学合同の教育ワークショップを年1回開催。各学部・学科より発表を行い、全体討論を行う。

<教育学部FD研修会>

教育学部教員全員参加のFD研修会を月1回の定例で開催する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

(平成23年度)

<公開授業>

短期大学部は6月、大学は11月に実施した。

<教育ワークショップ>

平成23年度は全体テーマを「各学部・学科における「導入教育」とし、9月に実施した。

各学部・学科の発表テーマは以下のとおり。

栄養科学部：「栄養科学部における導入教育の概要」

教育学部：「教育学部 初年次教育科目「スタディ・スキルⅠ、Ⅱ」の実施報告と課題」

流通科学部：「流通科学部の導入教育の現状と今後の展開」

短期大学部食物栄養学科：「食物栄養学科における導入教育 —「実践力ある栄養士」の養成を目指して—」

短期大学部キャリア開発学科：「キャリア開発学科における導入教育の取組み」

短期大学部幼児保育学科：「幼児保育学科の導入教育について —実践のまとめと展望—」

<教育学部FD研修会>

月に1回の開催を基本として11回開催し、毎回、学部教員のほぼ全員が出席した。（うち1回は、平成21年度文部科学省大学教育・学生支援推進プログラム「小学校教員採用試験受験支援のためのe-ラーニング演習の構築」公開フォーラムを充てた。）

(平成24年度)

<公開授業>

大学は6月、短期大学部は11月に実施した。

<教育ワークショップ>

平成24年度は全体テーマを「社会的・職業的自立に向けた指導等～キャリアガイダンスの取り組み」とし、9月に実施した。

各学部・学科の発表テーマは以下のとおり。

栄養科学部：「栄養科学部における社会的・職業的自立に関する指導等（キャリアガイダンス）の取り組み」

教育学部：「人間発達学部・教育学部の実習指導・教職指導の現状と課題」

流通科学部：「流通科学部ゼミにおけるマーケティング活動の取り組み－理論と実際の統合を目指して－」

短期大学部食物栄養学科：「プロ意識と実力を持った栄養士の育成」

短期大学部キャリア開発学科：「キャリアガイダンスへの取り組み～インターンシップを中心として～」

短期大学部幼児保育学科：「幼児保育学科における初年次教育－社会的・職業的自立を見据えて－」

事務局（就職課）：「就職課の支援システム」

<教育学部FD研修会>

月に1回の開催を基本として10回開催し、毎回、学部教員のほぼ全員が出席した。

(平成25年度)

<公開授業>

短期大学部は6月、大学は11月に実施した。

<教育ワークショップ>

平成25年度は全体テーマを「学生の主体的な学修を促す具体的な教育の在り方を探る」とし、教育学部が担当学部となり、9月に実施した。

今回は、久留米大学文学部の安永悟教授に基調講演をいただき、その後各学部・学科・事務局からの実践報告が行われた。各学部・学科・事務局の発表テーマは以下のとおり。

栄養科学部：「栄養科学部初年次教育の取り組み『自ら学ぶ、能動的な学習者』にするための教育－」

教育学部：「学生の主体的学習を促す授業実践の取り組み－発達支援センター『親子教室』参加を通して－」

流通科学部：「流通科学部におけるアクティブ・ラーニング活動の現状と取り組み」

短期大学部食物栄養学科：「栄養士を目指す学生の授業・課外活動に対する主体的参加の一例」

短期大学部キャリア開発学科：「キャリア開発学科におけるアクティブ・ラーニングの取り組み－インターンシップ必修化の現状と課題」

短期大学部幼児保育学科：「学生の表現力を引き出し、それをいかに育てるか」

事務局（就職課）：「学生の主体的な学びを促す図書館機能の整備に向けて－より親しまれる図書館を目指して」

<教育学部FD研修会>

月に1回の開催を基本として7回開催し、毎回、学部教員のほぼ全員が出席した。

(平成26年度)

<公開授業>

実施方法検討中

<教育ワークショップ>

9月実施予定

<教育学部FD研修会>

毎月1回実施予定

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・授業についてのアンケートはFD委員会より科目別集計結果が各授業担当教員へ報告され、各教員は授業改善に取り組んでいる。また、アンケートで明らかになった課題等を研修会やワークショップのテーマに取り上げ、問題の共有を図っている。
- ・公開授業は、参観した教職員はレポートに当該授業の良かった点、自身の授業に取り入れたい点、その他（感想、改善アドバイス等）を記し、被参観者はこのレポートを元に考察を作成・提出し、授業を振り返ることにより確実に授業改善へと繋げている。
- ・教育ワークショップは、各学部・学科の特色に伴う授業上の問題点やそれに対する工夫についての全学教員による直接討論の場であり、新しいアイデアの創出と教員の意欲向上に貢献している。
- ・教育学部FD研修会では、テーマとして「1年次生学力テストの結果と今後の対策」、「入学前教育と補完授業」、「学生の免許資格希望の動向」、「教育学部の内外環境の分析」などを取り上げ、継続的かつ定期的に授業改善について議論することにより教員の意識改革を図っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

半期ごとに授業の終わり（7月、1月）に実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

学生からの回答は授業ごとにまとめ、授業担当教員に配布した。

全体的な集計結果（学部毎、学年毎）をホームページに公開した。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学部は、人間発達学部を改組し、平成23年4月に発足した。改組の要点は、①本学部の教育方針や教育研究の内容についてより具体的に社会に理解されやすいよう、学部・学科の名称を教育学部児童幼児教育学科に変更したこと、また、②専攻制の廃止により取得する免許・資格等の選択を入学後2年次からとし、いわゆるレイト・スペシャリゼーションを可能とするとともに、③免許・資格取得選択の幅を拡げ、小学校教諭免許・幼稚園教諭免許・保育士資格の同時取得、あるいは小学校教諭免許・幼稚園教諭免許・特別支援学校教諭免許の同時取得を可能としたことである。またこの改組に伴い、新カリキュラムでは実験・実習をこれまでより更に充実させた。

入学志願者数は、改組前、旧人間発達学部人間発達学科の2専攻定員計200名に対して平成21年度1,159名、平成22年度1,341名であったのに対し、改組後、教育学部児童幼児教育学科（入学定員220名）の志願者数は、改組後1年目の平成23年度に1,496名と増加し、平成24年度は1,530名、平成25年度は1,730名と増加した。平成26年度は1,415名と減少したが、これは最近の高校生全般の志望動向を反映したものと考えられる。平成26年度も志願者数は入学定員の6.4倍に達しており、本学部の教育に適した入学者の選抜が出来ている。

学部の運営においては、改組後3年を経過した現時点において学生の履修、授業の運営に大きな問題はない。平成26年度に新規開講となる特別支援学校教育実習についても、この分野に豊富な現場経験を有する教員を配置し、学部教員全員でバックアップする体制を整えている。学生の志望変更に対しては個別に対応（履修プラン修正の指導ならびに実習計画の見直し）しているが、次期カリキュラム改訂に向け、より適切なシステム作りをめざして検討を進めている。

以上より、今回の改組が受験生・保護者に好感と期待を持って受け入れられたと同時に本学部の主要な社会的使命の一つである教員養成にプラスの効果をもたらしたと考えられる。

② 自己点検・評価報告書

従来からの中期総合計画とこれに基づく年次事業計画を認証評価項目と統一化することにより、一括した自己点検評価、報告を行う仕組みの整備を図った。平成23年度からは、目標や計画ごとにその進捗の度合いを計測・評価するための定量的・定性的な指標を設定して自己点検・評価を行い、改善事項を次の計画に繋いでいる。

a 公表（予定）時期

毎年6月に、事業報告を公表している。また、平成26年度に大学基準協会による機関別認証評価を受審し、自己点検評価・報告書を公表する計画である。

b 公表方法

毎年6月に、年次事業計画に対する活動実績を事業報告として本学ホームページで公表している。また、平成26年度に受審する大学基準協会による機関別認証評価についても自己点検・評価報告書をまとめ、本学ホームページで公表する計画である。

③ 認証評価を受ける計画

前回は平成19年度に大学基準協会の認証評価を受け、平成26年度に2度目の認証評価を受審する。平成23年度に大学基準協会の指標に基づいて本学の第5次中期総合計画（平成24～26年度）並びに単年度事業計画を策定し、以後、PDCAサイクルを循環させながら確実に計画を遂行する体制の整備に取り組んでいる。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成26年 9月 1日)

(空白ページ)

中村学園大学(含む短期大学部)FD委員会規程

平成20年4月1日
制定

(設置)

第1条 中村学園大学及び中村学園大学短期大学部のFDを実施するため、中村学園大学(含む短期大学部)FD委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、中村学園大学及び中村学園大学短期大学部の教育研究水準の向上を図り、教育目標を達成するため、本学における教育研究活動等の状況について、自己点検・評価に基づくFDを円滑に実施することを目的とする。

(構成)

第3条 委員会は、次に掲げる者をもって構成する。

- (1) 学長
- (2) 各研究科長
- (3) 各学部長
- (4) 各学科主任
- (5) 合同教務委員長
- (6) FD推進センター長
- (7) 事務局長
- (8) 教務課長
- (9) 学事課長

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、学長をもってこれに充てる。

2 委員長を補佐するため副委員長を置くことができる。副委員長は、委員長が委員の中から指名する。

(所掌事項)

第5条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) FDの基本方針及び基本計画に関すること。
- (2) その他自己点検・評価に基づくFDに関すること。

(委員会の開催)

第6条 委員会は、委員長がこれを招集し、その議長となる。

2 委員長に事故のあるときは、副委員長がその職務を代行する。

3 委員長が必要と認めるときは、随時委員会を招集することができる。

(関係職員の意見の聴取)

第7条 委員会は、関係職員の出席を求め、意見を聴取することができる。

(運営)

第8条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の議により定める。

(事務)

第9条 委員会に関する事務は、教務課が処理する。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、平成20年4月1日から施行する。

(廃止)

- 2 この規程の施行に伴い、「中村学園大学(含む短期大学部)FD推進委員会細則」、「中村学園大学自己点検・評価委員会規程」及び「中村学園大学短期大学部自己点検・評価委員会規程」は廃止する。

中村学園大学(含む短期大学部)FD推進センター規程

平成20年4月1日
制定

(趣旨)

第1条 この規程は、中村学園大学(含む短期大学部)FD推進センターの組織等に関し必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 FD推進センターは、本学におけるファカルティ・ディベロップメント(以下「FD」という。)に関する実践的研究を行い、FDに関する施策・提言を行う。

2 FD推進センターは、本学の教育活動の改善について、助言及び協力を行う。

3 FD推進センターは、各学部等が行う各号の活動について、助言及び支援を行う。

一 教育方法

二 教育力向上

三 授業参観、公開授業

四 学習成果・厳格な成績評価基準(到達目標、試験問題、評価)

五 カリキュラム作成に関するワークショップ

六 学生による授業評価のフィードバック

七 補完教育のためのeラーニングの充実

4 前3項に定めるもののほか、FD推進センターは、各学部長、各教育センターが行う教育の企画、開発及び実施の支援を行う。

(センター長)

第3条 FD推進センターに、センター長を置く。

2 センター長は、本学の教授をもって充てる。

3 センター長の任期は、2年とし、再任を妨げない。

4 センター長は、FD推進センターの業務を掌理する。

(学外顧問)

第4条 センター長は、FDの必要に応じて、学外の有識者をFD推進センターの顧問として委嘱することができる。

2 前項に定める顧問を学外顧問と称し、任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。

3 学外顧問は、センター長の求めによりFDについて助言を行う。

(委員会)

第5条 FD推進センターに、FD推進及びFD推進センターの運営に関する事項について審議するため、FD推進委員会(以下「委員会」という)を置く。

2 委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、別に定める。

(事務組織)

第6条 FD推進センターの事務は、教務課において処理する。

附 則

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

中村学園大学(含む短期大学部)FD推進委員会細則

平成20年4月1日
制定

(設置)

第1条 中村学園大学(含む短期大学部)FD推進センター規程第5条に基づき、中村学園大学及び中村学園大学短期大学部のFDを実施する委員会として、中村学園大学(含む短期大学部)FD推進委員会(以下「委員会」という)を置く。

(構成)

第2条 委員会は、次に掲げる者をもって構成する。

- (1) FD推進センター長
- (2) 教養教育センター長
- (3) 一般教育セクション長
- (4) 体育セクション長
- (5) 外国語教育セクション長
- (6) 情報教育センター長
- (7) 教職教育センター長
- (8) 各研究科・学部・学科から委員各1名
- (9) 合同教務委員長
- (10) 教務課長
- (11) その他委員会が必要と認めた者

(任期)

第3条 前条第8号に該当する委員の任期は、2年とする。

ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることがある。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、FD推進センター長をもってこれに充てる。

2 委員長を補佐するため副委員長を置くことができる。副委員長は、委員長が委員の中から指名する。

(所掌事項)

第5条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議を行う。

- (1) 中村学園大学(含む短期大学部)FD委員会の定めるFDの基本方針及び基本計画に基づくFDの実施に関すること。
- (2) FDに係る研究会及び研修会等に関すること。
- (3) FDに係る調査・研究に関すること。
- (4) 教育技法の改善の支援に関すること。
- (5) 公開研究授業等に関すること。
- (6) その他FDに関すること。

(委員会の開催)

第6条 委員会は、委員長がこれを招集し、その議長となる。

2 委員長に事故のあるときは、副委員長がその職務を代行する。

3 委員長が必要と認めるときは、随時委員会を招集することができる。

(関係職員の意見の聴取)

第7条 委員会は、関係職員の出席を求め、意見を聴取することができる。

(運営)

第8条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の議により定める。

(事務)

第9条 委員会の事務は、教務課において処理する。

附 則

この細則は、平成20年4月1日から施行する。